

Pioneer sound.vision.soul

タッチパネルタイプ

MDLP

Mini
Disc

はじめに

基本

テレビ

ラジオ

CD

MP3

MD

交通情報

ミュージックサーバー

PCカード

TVモニター

音の調整

音場と音質の調整

付録

Audio Book

6.5 型ワイドTV/MD/CD・HDD・DSP AVナビサーバー
AVIC-ZH77MD

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

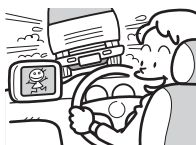
[使用方法]



禁止

運転中に操作をしない

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。



禁止

走行中にテレビやビデオを見ない

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。



分解禁止

分解や改造はしない

本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

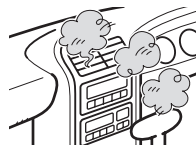
[異常時の処置]



禁止

故障のまま使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用になると事故・火災・感電の原因となります。



禁止

異常のまま使用しない

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



必ず行う

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

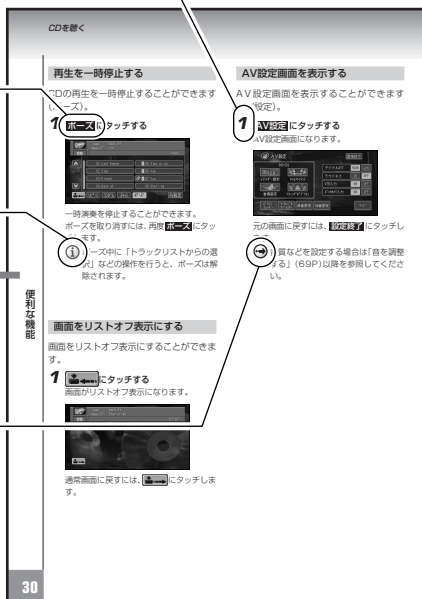
本書をお読みになる前に知っておいていただきたいことや、見たい項目の探しかたなどについて説明します。

操作手順の順番を示す番号

画面上のメニューやタッチスイッチ
画面上に表示されるメニューやタッチスイッチを表します。

インフォメーションマーク **i**
操作上、注意すべきことや操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明します。

参照マーク **→**
参照していただきたい本文タイトルとページ、および他の説明書を導きます。



ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、知りたい情報を探しやすいように構成されています。

情報の探しかた

大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。

中見出しは探しやすいように、ページをめくる側の全ページに入っています。

大見出し

MP3ディスクを聴く

基本的なMP3ディスクの聴きかた

この操作をさせていただくだけで、CD-ROM、CD-R/RWに記録したMP3ファイルを聴くことができます。

1 [OPEN] ボタンを押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

2 ディスク挿入口に、タイトル層を上にしてMP3を記録したディスクを差し込む

自動的に再生が始まります。

3 ディスクが最後まで挿し込まれたことを確認してから、もう一回 [OPEN] ボタンを押す

ディスプレイ部が閉じ、再生が再開されます。

ソース フォルダタイトル

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

トラックNo. 再生中トラックの経過時間

トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

中見出し

すぐに使いたい場合は、この帯の付いている部分をお読みください。

本体上のボタン
本体などについているボタンを表します。

続きマーク >>
右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

注意マーク !

安全のために、必ず守っていただきたいことです。操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明します。

本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

はじめに	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
	本書の見かた	4
	ページ内の構成	4
	情報の探しかた	4
	はじめに	12
	ご使用前に知っておいていただきたいこと	12
	安全走行のために	12
	画面が見えにくいときは	12
	バッテリー上がりを防ぐために	12
携帯電話をお使いになる際のご注意	12	
ディスプレイ部の液晶画面を保護するために	12	
各部の名前とおもな働き	13	
基本	基本操作	14
	長時間録音されたMDの再生について	14
	MDLPについて	14
	ディスクの入れかた・取り出しかた	14
	ディスクの入れかた	14
	ディスクの取り出しかた	14
	画面が見にくいときに角度を調節する	15
	タッチスイッチでの操作	16
	タッチスイッチの再表示のしかた	16
	本書での表記について	16
	映像の切り替えかた	16
	ソースを切り替える	16
	ソースをOFFにする	17
オートアンテナの操作について	17	
音量を調整する	17	

テレビを見る 18

基本的なテレビの見かた	18
チャンネルを順番に見る	19
チャンネルをすばやく探す（自動選局）	19
記憶されたチャンネルの呼び出しかた	19
プリセットの種類を選ぶ	20
プリセットチャンネルを順に呼び出す	20
プリセットチャンネルのリストから呼び出す	20
便利な機能	21
受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる	21
違うバンドにする	21
音声多重放送の副音声を聞く	22
テレビ映像に切り替える	22
テレビ音声を録音する	22
手動でチャンネルを記憶させる	23
画面を簡易表示にする	23
AV設定画面を表示する	23

ラジオを聞く 24

基本的なラジオの聞きかた	24
選局する	24
記憶された放送局の呼び出しかた	25
プリセットの種類を選ぶ	25
プリセット放送局を順に呼び出す	25
プリセット放送局のリストから呼び出す	26
便利な機能	26
受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる	26
ラジオ音声を録音する	27
手動で放送局を記憶させる	27
画面をリストオフ表示にする	27
AV設定画面を表示する	27

CDを聴く 28**基本的なCDの聴きかた 28**

便利な機能	29
同じ曲を繰り返し聴く	29
いつもと違う曲順で聴く	29
聴きたい曲を探す	29
再生を一時停止する	30
画面をリストオフ表示にする	30
AV設定画面を表示する	30

MP3ディスクを聴く 31**基本的なMP3ディスクの聴きかた 31**

便利な機能	32
再生中の曲の詳細情報を見る	32
同じ曲を繰り返し聴く	32
いつもと違う曲順で聴く	33
聴きたい曲を探す	33
再生を一時停止する	34
画面をリストオフ表示にする	34
AV設定画面を表示する	34
タイトル表示について	34

MDを聴く 35**基本的なMDの聴きかた 35**

便利な機能	36
同じ曲を繰り返し聴く	36
いつもと違う曲順で聴く	36
聴きたい曲を探す	36
再生を一時停止する	36
MD音声を録音する	37
画面をリストオフ表示にする	37
AV設定画面を表示する	37

交通情報を聞く 38**基本的な交通情報の聞きかた 38**

交通情報音声を録音する 38

ミュージックサーバーを利用する 39**ミュージックサーバーとは 39**

基本的なミュージックサーバーの聴きかた 39

聴きたい曲を曲名より選択して聴く 40

同名の曲名より選択して聴く 40

便利な機能 41

同じ曲を繰り返し聴く 41

いつもと違う曲順で聴く 41

曲を検索して聴く 42

再生を一時停止する 42

詳細情報を表示する 43

画面をリストオフ表示にする 43

AV設定画面を表示する 43

ミュージックサーバーに録音する 44

録音についてのご注意 44

CD録音モードを設定する 44

CD録音の制限について 45

CD再生中に自動的に録音する 45

手動によるCDの録音 46

CDの1曲目だけを自動的に録音する 46

CD以外のソースを録音する 47

プレイリストの編集 47

新規のプレイリストを登録する 47

プレイリストの情報を編集する 49

プレイリストの再生順番を変更する 50

プレイリストを消去する 51

再生しないプレイリストを設定する 52

プレイリストに曲を追加する 53

プレイリストに画像を登録する 54

トラックの情報を編集する 55

曲の再生順番を変更する 56

曲を消去する 57

アーティストを消去する 58

タイトル情報を取得する 59

PCカードに記録されたMP3ファイルを聴く 61

基本的なPCカード内のMP3ファイルの聴きかた 61

TVモニターの設定 63

- 画質の調整をする 63
 - 黒の濃さやコントラストを調整する 63
 - 色の濃さや色あいを調整する 63
 - 液晶画面の明るさを調整する 64
 - 画面を消す 64
 - ワイド画面の拡大方法を切り替える 65
 - ワイドモードの種類 66
- VTRを見る 67
- バックカメラに切り替える 67
- VTRやバックカメラを見られるようにする 68
 - VTRの入力を設定する 68
 - バックカメラの入力を設定する 68

音を調整する 69

- AV設定画面 69
- 前後左右の音量バランスを調整する 71
- 小音量時の音にメリハリをつける 72
- 各ソースの音量の違いをそろえる 72
- 音声案内がよく聞こえるようにする 73

音場と音質の調整 74

- イコライザーカーブを選ぶ 74
- イコライザーカーブを大まかに補正する 74
- イコライザーカーブを細かく調整する 75
- イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する 76
- 音場の中心で聞く 78
- 車種に合ったタイムアライメントを選ぶ 78
- タイムアライメントを詳細に設定する 79
- 音の歪みを補正する 80
- 録音時間（CD以外）を設定する 81

その他の機能と付録	82
音声で操作できる機能	82
本機のリセットのしかた	82
リセットする	82
リアモニターを組み合わせる	83
リアモニターに表示される映像について	83
TVモニターの正しい使いかた	83
取り扱い上のご注意	83
液晶画面について	83
小型蛍光管について	84
お手入れについて	84
MP3ファイルについて	84
MP3とは?	84
再生できるMP3ファイルについて	84
フォルダとMP3ファイルについて	85
MP3用語の解説	86
故障かな?と思ったら	87
共通項目	87
テレビ	89
ラジオ	89
MD	89
CD/MP3ディスク	90
MP3ディスク/MP3ファイル	90
ミュージックサーバー	91
こんなメッセージが表示されたら	92
共通項目	92
CD/MP3ディスク	92
MD	93
ミュージックサーバー	94

索引	95
メニュー索引	95
用語索引	96
五十音順	96
数字・アルファベット順	97

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)また、走行中はナビゲーションやオーディオ、画面表示の各種設定・調整は一部できません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

(例)テレビを見ようとしたとき



画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

➡「黒の濃さやコントラストを調整する」(63P)、「液晶画面の明るさを調整する」(64P)を参照してください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

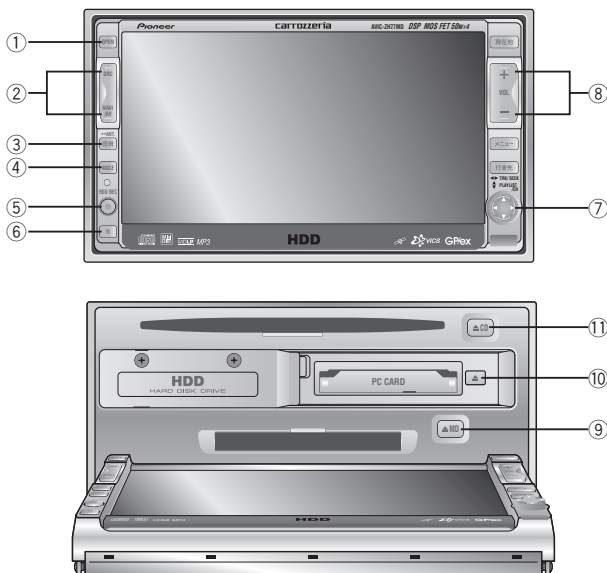
携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをディスプレイ部に近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

ディスプレイ部の液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、ディスプレイ部に直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

各部の名前とおもな働き



① OPEN/CLOSEボタン

ディスプレイ部を開いたり、閉じたりするときに押します。

⚠ ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対に開け閉めしないでください。

② SRC・NAVI/AVボタン

SRCボタンはソース(音源・映像)を切り替えたり、長く押しとソースをOFFにします。

NAVI/AVボタンはナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。

③ 画質ボタン

[画質調整]画面を表示させます。長く押しとオートアンテナをON/OFFします。

④ ANGLEボタン

ディスプレイ部の角度を調整します。

⑤ HDD RECボタン

再生中の音声を録音します。

⑥ TIボタン

主要道路に設置してある交通情報を受信するときに押します。

⑦ ▲/▼/◀/▶ボタン

曲の早送りや巻き戻し、FM/AM、TVのチャンネルを変えるときなどに使用します。

⑧ VOLボタン

	音量を大きくするとき
	音量を小さくするとき

⑨ MD取り出しボタン

MDを取り出すときに押します。

⑩ PCカード取り出しボタン

PCカードを取り出すときに押します。

⑪ CD取り出しボタン

CDを取り出すときに押します。

基本操作

長時間録音されたMDの再生について

本機はMDLPに対応しています。
長時間録音されているMDも再生することができます。

MDLPについて

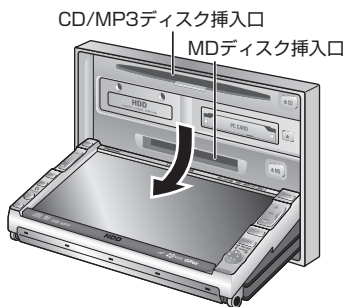
- MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。
- 本機はMDのグループ機能に対応していません。グループ登録されたMDを再生すると、ディスクタイトルはグループ名などを含めた状態で表示されます。

ディスクの入れかた・取り出しかた

ディスクの入れかた

1 OPEN ボタンを押す

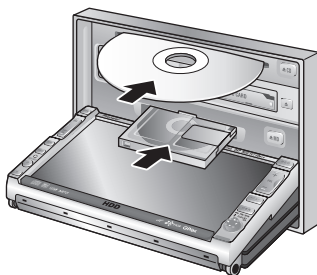
ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。



- ⚠ ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対に開け閉めしないでください。

2 指定の挿入口にタイトル面を上にしてディスクを差し込む

ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。



- ⚠ 8 cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスク挿入口には、ディスク以外のものを入れないでください。

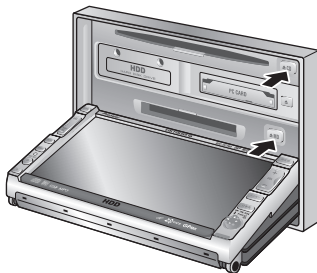
3 ディスクが奥まで挿入されたことを確認してから、もう一度OPEN ボタンを押す ディスプレイ部が閉じます。

ディスクの取り出しかた

1 OPEN ボタンを押す

ディスプレイ部が開きます。

2 ▲CD ボタンまたは、▲MD ボタンを押す ディスクが自動的に押し出されます。



- i 出てきたCDはすぐに取り出して保管してください。

3 ディスクを差し込み口から取り出したあと、もう一度 **OPEN** ボタンを押す

ディスプレイ部が閉じます。

- ① ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性のあるときには絶対に開け閉めしないでください。

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったりして、思わぬけがををするおそれがあります。

- ディスプレイ部が完全にオープン／クローズしないうちに、操作しないでください。操作した場合(CDなどを挿入、取り出しボタンを押す)安全のためディスプレイ部がその角度で停止します。

- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。

- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。

- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。

- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

- ② ディ스플레이部が完全に開いた状態で、車のエンジンスイッチをOFFにすると「ディスプレイ部が開いています。表示部保護のため、お閉めください。」と音声メッセージが流れます。ACCをONにし、**OPEN** を押してディスプレイ部を閉じてください。

画面が見にくいときに角度を調節する

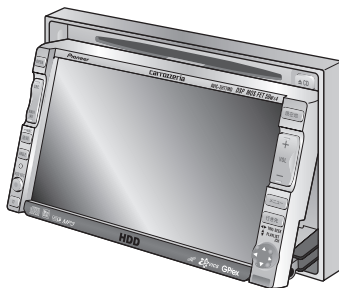
画面の角度を7段階に調整できます。車外からの光が画面に反射しているときなどは、見やすくなるように調整してください。

1 **ANGLE** を押す

ディスプレイ部が斜め上方に1段階傾きます。ボタンを押すごとに1段階ずつ傾いていきます。

ANGLE を押し続けると連続して傾いていき、離れたところで止まります。(7段階目になると自動的に止まります。

傾きが7段階目のときにボタンを押すと、ディスプレイ部が閉じた状態に戻ります。



- ① ディスプレイの角度を調節するときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性のあるときには絶対に角度の調節をしないでください。

- 本機は、エンジンを切る(ACCをOFFにする)とディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性のあるときには十分にご注意ください。

ディスクの入れかた・取り出しかた／画面が見にくいときに角度を調節する

- ① ディスプレイ部を傾けた状態でも、**OPEN**を押すとディスプレイ部が開きます。ディスプレイ部を閉じると、傾いた状態に戻ります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

タッチスイッチでの操作

本機では13ページで説明したボタンと共に、画面上に表示されるタッチスイッチに軽く触れることにより操作を行います。

- ① 画面は傷つきやすいので必ず指で触れて操作してください。

タッチスイッチの再表示のしかた

テレビやVTR映像のときに数秒間何も操作しないと、タッチスイッチは自動的に画面上から消えます。

再表示するときは、画面にタッチします。

本書での表記について

本書ではボタンやタッチスイッチの操作を以下のように表記しています。

ボタンの操作：

(例) **メニュー** ボタンを押す

タッチスイッチの操作：

(例) **AV設定** にタッチする

映像の切り替えかた

映像をソース画面(CD/MP3、ミュージックサーバー、テレビ、FM/AM、MD、VTR)とナビゲーション画面で切り替えることができます。

1 **NAVI**を押して映像を切り替える

NAVIを押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



ソース画面



ソースを切り替える

ソースを切り替えると、各ソースの状態が表示されます。この画面で、現在受信中のチャンネルや放送局名、アルバムタイトルなどを確認することができます。

- ① ナビゲーション画面の時に各ソースの状態を見たい場合は、**DISC**を押すとナビゲーション画面上部にソース状態を確認できるプレートが表示されます。もう一度**DISC**を押すと消えます。

を押すごとに、以下のようにソースが切り替わります。



- ※1 MDが挿入されていない場合は、MDへは切り替わりません。
- ※2 [AV設定]でVTRをONにすると、VTRにも切り替わるようになります。→「VTRの入力を設定する」(68P)

- i** CD/MP3ディスクが挿入されていない場合は、「ディスクが入っていません。」と表示されます。
- CD-ROM(MP3が入っていないCD-Rを含む)が挿入された場合は「CD-ROMが挿入されました。」と表示されます。
- DVDなどの非再生ディスクが挿入された場合は「再生できません。ディスクを取り出してください。」と表示されます。

ソースをOFFにする

1 を長く押し続ける

ソースがOFFになります。

もう一度 を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

- i** ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。

オートアンテナの操作について

本機をオートアンテナ車に取り付けた場合は、本機の電源ONに連動してオートアンテナが上がる場合があります。屋内ではご注意ください。オートアンテナは、本機の手動操作で上げ下げすることができます。

1 を長く押し続ける

ボタンを長く押すごとにオートアンテナがON(上げる)とOFF(下げる)が切り替わります。



- i** オートアンテナ車以外では常にONに設定しておいてください。OFFに設定するとAM/FMラジオやVICS/FM多重放送の受信ができなくなる場合があります。

音量を調整する

お好みの音量に調整することができます。

1 各ソースの画面で、 または を押して音量を調整する



+	音量を大きくするとき
-	音量を小さくするとき

- i** 車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。
- i** 0~40の範囲で調整できます。
- ボリューム調整画面は、4秒間表示されます。

テレビを見る

基本的なテレビの見かた

この操作をしていただだけで、テレビを見ることができます。

ⓘ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、ディスプレイ部でテレビ映像を見られます。走行中は安全のためにディスプレイ部には、テレビ映像は表示されません。

1 [SRC]を押して、ソースを[TV]に切り替える

プリセットチャンネル選択画面が表示されます。表示されていない場合は画面にタッチします。

映像がナビゲーション画面のときに、ソースを[TV]にした場合は、音声のみ切り替わります。[MIX]ボタンを押すとTV画面またはプリセットチャンネル選択画面になります。

放送局名 現在選局中のチャンネル



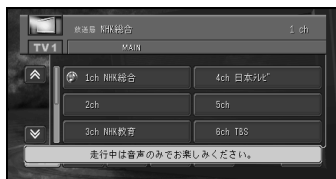
ステレオ／音声多重放送表示

TV映像のときに数秒間何も操作しないと、タッチスイッチは自動的に画面上から消えます。

再表示するときは、画面にタッチします。

ⓘ 画面には、6チャンネル分のチャンネルリストが表示されます。7チャンネル目以降のチャンネルリストを表示させるには、[▼]または[▲]にタッチします。

• 走行中には、安全のためにディスプレイ部には、テレビ映像は表示されません。(チャンネルリストは表示されます。)



2 チャンネルリストの中の見たいチャンネルにタッチする

選択したチャンネルの映像が表示されます。

7チャンネル目以降のチャンネルリストを表示させるには、[▼]にタッチします。

ⓘ 受信できるチャンネルは、1ch～62chです。

• ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL]が表示されます。

• 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。

• トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさざぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。

• 走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、チャンネルを選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)

➡ バンドごとに12局までチャンネルを記憶させることができます。



→「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(21P)、「手動でチャンネルを記憶させる」(23P)


3 テレビをOFFにするには[SRC]を長く押す


チャンネルを順番に見る

1  を左右に倒す


順番にチャンネルが切り替わります。

	前のチャンネルを選ぶとき
	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局(1ステップずつ)する場合は、 を左右に短めに倒します。

自動選局する場合は、 をしばらく左右に倒し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。

チャンネルをすばやく探す(自動選局)

1  をしばらく左右に倒し続ける

順番にチャンネルを探します。

記憶されたチャンネルの呼び出ししかた

あらかじめ記憶されているチャンネルから、放送局を呼び出すことができます(プリセットチューニング)。

プリセットチューニングには、ユーザープリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

i 本機は、TV1とTV2の2つのバンドがあり、各バンドでユーザープリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1にユーザープリセットで記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、TV2にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになるチャンネルの記憶はTV1に残ったままです。

ユーザープリセットチャンネル

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(21P)および「手でチャンネルを記憶させる」(23P)で記憶させたチャンネルです。

エリアプリセットチャンネル

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルです。現在地に応じたリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶したチャンネルを呼び出すか、自車位置付近の放送局を呼び出すかを選びます。

- 1 **エリア**または**ユーザー**にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ

エリアプリセット表示



ユーザープリセット: ユーザーが記憶したチャンネルを呼び出すことができます。
 エリアプリセット: 自車位置付近の放送局を呼び出すことができます。

- i** ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。

プリセットチャンネルを順に呼び出す



「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから1局ずつ順に呼び出します。

- 1 **BAND**にタッチして、バンドを選ぶ

- 2 を上下に倒して、チャンネルを呼び出す



プリセットチャンネル

	前のプリセットチャンネルを呼び出すとき
	次のプリセットチャンネルを呼び出すとき

プリセットチャンネルのリストから呼び出す

ユーザープリセットチャンネルまたはエリアプリセットチャンネルのリストを表示して、そこからチャンネルを呼び出します。

- 1 **エリア**または**ユーザー**にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ

エリアプリセット表示



- 2 見たいチャンネルにタッチする

- i** リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

便利な機能

テレビを見る場合の便利な機能(BSSM、BAND、多重、テレビ映像切替、TV音声の録音、マニュアルプリセット、リストOFF、AV設定)について説明します。走行中、操作できない機能もあります。

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、チャンネル番号の小さい順に記憶させることができます(BSSM)。

1 BSSM にタッチし続ける

サーチ中の画面が表示されます。



サーチ後、ユーザープリセットチャンネルが表示されます。

中止 にタッチすると、BSSMを中断します。

終了するとチャンネルリストが表示されます。

- ① BSSMとは、Best Stations Sequential Memory(ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。
- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

違うバンドにする

本機は2つのバンド(TV1とTV2)を用意しています。バンドを切り替えることができます(BAND)。現在のバンドは画面の左上に表示されます。

1 BAND にタッチする

バンド



バンドが変わります。

BAND にタッチするごとに、TV1→TV2→TV1のように変わります。

音声多重放送の副音声を聞く

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り替えることができます。

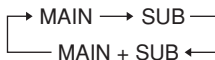
① 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 多重にタッチする



音声が変わります。

多重にタッチすることにより、以下のように切り替わります。



MAIN	主音声(日本語)
SUB	副音声(外国語)
MAIN+SUB	主・副音声(日本語+外国語)

テレビ映像に切り替える

チャンネル選択画面から直接、テレビ映像に切り替えることができます。

1 にタッチする



チャンネル選択画面が消え、テレビ映像になります。

再度チャンネル選択画面を表示させるには、テレビ映像にタッチします。


テレビ音声を録音する

1 (HDD RECボタン)を押す

現在受信しているテレビ音声の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生できます。

録音中の表示



録音を停止するには、再度 (HDD RECボタン)を押します。

ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止します。

手動でチャンネルを記憶させる


プリセットの種類がユーザープリセットの時のみ、バンドごとにチャンネルを12局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

1  を左右に倒して記憶させたいチャンネルを選ぶ

2 記憶させたいプリセットチャンネルしばらくタッチし続ける



現在受信中のチャンネルが、ユーザープリセットチャンネルに登録されます。

 記憶させたチャンネルの呼び出しかたは、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(20P)、「プリセットチャンネルのリストから呼び出す」(20P)を参照してください。

画面を簡易表示にする



停車中のみ、画面を簡易表示にすることができます(リストOFF)。

1 **リストOFF** にタッチする

画面が簡易表示になります。



通常画面に戻すには、**リストON** にタッチします。

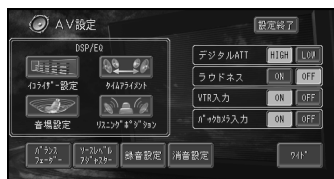
左右のチャンネルリストを表示させるには、 または  にタッチします。

AV設定画面を表示する


AV設定画面を表示することができます(AV設定)。

1 **AV設定** にタッチする

AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了** にタッチします。

-  ワイド画面にするには、「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(65P)を参照してください。
- 音質などを設定する場合は「音を調整する」(69P)以降を参照してください。

ラジオを聞く

基本的なラジオの聞きかた




この操作をしていただくだけで、ラジオを聞くことができます。

1 を押して、ソースを [FM/AM] に切り替える

プリセットチャンネル選択画面が表示されます。



ステレオ表示

 画面には、6チャンネル分のチャンネルリストが表示されます。7チャンネル目以降のチャンネルリストを表示させるには、 または  にタッチします。

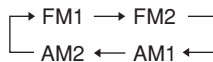


2 **BAND** にタッチして、バンドを選ぶ


バンド



BAND にタッチすることにより、以下のよう
にバンドが切り替わります。





3 チャンネルリストの中の間きたいチャンネルにタッチする


選択したチャンネルが受信されます。
7チャンネル目以降のチャンネルリストを表示させるには、 にタッチします。


4 ラジオをOFFにするには ボタンを長く押す

選局する


1 を左右に倒して、放送局を選局する

	低い周波数を選ぶとき
	高い周波数を選ぶとき

手動選局(1ステップずつ)する場合は、 を左右に短めに倒します。

自動選局する場合は、 をしばらく左右に倒し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。



 バンドごとに6局まで放送局を記憶させることができます。

→「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(26P)、「手動で放送局を記憶させる」(27P)

記憶された放送局の呼び出ししかた

あらかじめ記憶されている放送局から、聞きたい放送局を呼び出すことができます(プリセットチューニング)。

プリセットチューニングには、ユーザープリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

i 本機は、FM1(AM1)とFM2(AM2)の2つのバンドがあり、各バンドでユーザープリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使い方:

ふだんお使いになっている地域の放送局はFM1(AM1)にユーザープリセットで記憶させておきます。旅行などで受信放送局の異なる地域に移動したときに、FM2(AM2)にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになる放送局の記憶はFM1(AM1)に残ったままです。

ユーザープリセット放送局

「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(26P)および「手で放送局を記憶させる」(27P)で記憶させた放送局です。

エリアプリセット放送局

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別の放送局です。現在地に応じたリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶したチャンネルを呼び出すか、自車位置付近の放送局を呼び出すかを選びます。

- 1 エリア** または、**ユーザー** にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ


エリアプリセット表示





- i** ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。

プリセット放送局を順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから、1局ずつ順に呼び出します。

- 1 BAND** にタッチして、バンドを選ぶ
- 2**  を上下に倒して、放送局を呼び出す



	前のプリセット放送局を呼び出すとき
	次のプリセット放送局を呼び出すとき

プリセット放送局のリストから呼び出す

ユーザープリセット放送局またはエリアプリセット放送局のリストを表示して、そこから放送局を呼び出します。

- 1 **エリア**または、**ユーザー**にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ

エリアプリセット表示



- 2 地球儀を上下に倒して、聞きたい放送局を選ぶ

- 1 リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

便利な機能

ラジオを聞く場合の便利な機能(BSM、ラジオ音声の録音、マニュアルプリセット、リストオフ、AV設定)について説明します。

走行中、操作できない機能もあります。

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

バンドごとに放送局をさがして、6局まで自動的に記憶させることができます(BSM)。

- 1 **BSM**にタッチし続ける

サーチ中の画面が表示されます。



サーチ後、ユーザープリセット放送局が表示されます。

中止にタッチすると、BSMを中断します。

- 1 BSMとは、Best Stations Memory(ベストステーションズメモリー)の略です。
 - 受信状態の良い放送局が6局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。
- 2 記憶させた放送局を呼び出すには、「プリセット放送局を順に呼び出す」(25P)、「プリセット放送局のリストから呼び出す」(26P)を参照してください。

ラジオ音声を録音する

現在受信しているラジオ音声を録音することができます。

1 (HDD RECボタン)を押す

現在受信しているラジオ音声の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生できます。

録音中の表示



録音を停止するには、再度(HDD RECボタン)を押します。ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止します。

手動で放送局を記憶させる

プリセットの種類がユーザープリセットの時のみ、バンドごとに放送局を6局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

1 (左右のダイヤル)を左右に倒して記憶させたい放送局を選ぶ

2 記憶させたい放送局にしばらくタッチし続ける



現在受信中の放送局がユーザープリセット放送局に登録されます。

記憶させた放送局の呼び出しかたは、「プリセット放送局を順に呼び出す」(25P)、「プリセット放送局のリストから呼び出す」(26P)を参照してください。

画面をリストオフ表示にする

画面をリストオフ表示にすることができます。

1 (リストオフボタン)にタッチする

画面がリストオフ表示になります。



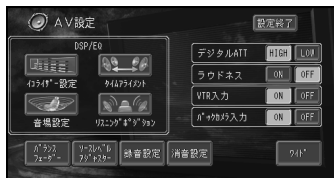
通常画面に戻すには、(リストオンボタン)にタッチします。

AV設定画面を表示する

AV設定画面を表示することができます(AV設定)。

1 (AV設定ボタン)にタッチする

AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了**にタッチします。

音質などを設定する場合は「音を調整する」(69P)以降を参照してください。

CDを聴く

基本的なCDの聴きかた

この操作をしていただくだけで、CDを聴くことができます。

1 OPEN ボタンを押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

2 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCDを差し込む

自動的に再生が始まります。

3 ディスクが奥まで挿入されたことを確認してから、もう一度 OPEN ボタンを押す

ディスプレイ部が閉じます。

ソース ディスクタイトル



トラックタイトル
トラックNo. 再生中トラック
の経過時間

内蔵のデータベースから情報を取得できた場合は、ソースプレートにディスクタイトルや再生中のトラックタイトルが表示され、トラックタイトルのリストが表示されます。

- ① ディスクを正しい方向で差し込んでください。
- タイトル情報を取得できなかった場合は、[No Title]と表示されます。
- 画面には、8曲分の曲リストが表示されます。9曲目以降の曲リストを表示させるには、 または にタッチします。

- にタッチしてトラックタイトルリストを消すことができます。もう一度タッチすると、再び表示されます。
- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードはオートです。再生したCDは、自動的に録音されます。録音中は **REC** マークが表示されます。

4 曲リストの中の聴きたい曲をタッチする

9曲目以降の曲リストを表示させるには、 にタッチします。

	前の曲を選ぶとき
	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、 をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、 をしばらく右に倒し続けます。

5 CDの再生を中止するには、SRC ボタンを長く押す

- ① 既にCDが挿入されていて、他のソースからCDソースに切り替える場合は、 を押して、CDソースに切り替えます。
- CDをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。

便利な機能

CDを聴く場合の便利な機能(リピート、ランダム、スキャン、ポーズ、リストオフ、AV設定)について説明します。
走行中、操作できない機能もあります。

同じ曲を繰り返し聴く

現在再生中の曲を、繰り返し聴くことができます(リピート再生)。

1 リピートにタッチする



演奏中の曲を繰り返し聴くことができます。

リピートを取り消すには、再度**リピート**にタッチします。

i リピート再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

いつもと違う曲順で聴く

現在再生中のCDを、いつもと違う曲順で再生することができます(ランダム再生)。

1 ランダムにタッチする



ランダムに演奏することができます。
ランダムを取り消すには、再度**ランダム**にタッチします。

i ランダム再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ランダム再生は解除されます。

聴きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聴くことができます(スキャン再生)。

1 スキャンにタッチする



曲の始めをスキャンします。

スキャンを取り消すには、再度**スキャン**にタッチします。

i スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2 聴きたい曲が再生されたら、スキャンにタッチする

i スキャン再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、スキャン再生は解除されます。

再生を一時停止する

CDの再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 **ポーズ**にタッチする

一時演奏を停止することができます。

ポーズを取り消すには、再度**ポーズ**にタッチします。

- ① ポーズ中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ポーズは解除されます。


画面をリストオフ表示にする

画面をリストオフ表示にすることができます。

1 にタッチする

画面がリストオフ表示になります。



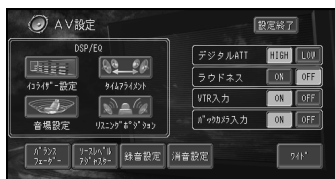
通常画面に戻すには、にタッチします。

AV設定画面を表示する

AV設定画面を表示することができます(AV設定)。

1 **AV設定**にタッチする

AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了**にタッチします。

- ① 音質などを設定する場合は「音を調整する」(69P)以降を参照してください。

MP3ディスクを聴く

基本的なMP3ディスクの聴きかた

この操作をしていただくだけで、CD-ROM、CD-R/RWに記録したMP3ファイルを聴くことができます。

1 OPENボタンを押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

2 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてMP3を記録したディスクを差し込むと自動的に再生が始まります。

3 ディスクが奥まで挿入されたことを確認してから、もう一度OPENボタンを押すディスプレイ部が閉じます。

ソース フォルダタイトル



トラックタイトル
トラックNo. 再生中トラックの経過時間

- ① ディスクを正しい方向で差し込んでください。
- 再生中の曲名には左側に音符(🎵)が表示されます。
- フォルダには左側にフォルダ(📁)が表示され、再生中のフォルダにはフォルダの左側に音符(🎵)が表示されます。
- トラックNoは、フォルダに関係なくディスク内全ての曲に順番で付けられます。

- 画面には、8曲分の曲リストまたはフォルダが表示されます。9曲目以降の曲リストやフォルダを表示させるには、**▼**または**▲**にタッチします。
- 挿入されたMP3ディスクは、自動的に内容を検索します。その間、再生まで多少時間がかかる場合があります。

4 曲リストの中の聴きたい曲にタッチする9曲目以降の曲リストやフォルダを表示させるには、**▼**にタッチします。

	前の曲を選ぶとき
	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、をしばらく右に倒し続けます。

② 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。また、再生できないMP3ファイルもリスト表示されます。再生できないファイルはとばして再生されます。再生できるMP3ファイルについては84Pを参照してください。

5 フォルダ内の曲を再生するには、フォルダにタッチする

フォルダ内の曲リストが表示されます。




9曲目以降の曲リストやフォルダを表示させるには、**▼**にタッチします。元に戻るには、**上**にタッチします。

つづく

6 聴きたい曲にタッチする

7 MP3ディスクの再生を中止するには、

 ボタンを長く押し

- ① 既にMP3ディスクが挿入されていて、他のソースからMP3ソースに切り替える場合は、 を押し、MP3ソースに切り替えます。
- MP3ディスクをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。

便利な機能

MP3ディスクを聴く場合の便利な機能(詳細情報、リピート、ランダム、スキャン、ポーズ、リストオフ、AV設定)について説明します。

走行中、操作できない機能もあります。

再生中の曲の詳細情報を見る

現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます(詳細情報)。

1 詳細情報 にタッチする

ID3タグ情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報(アーティスト名、ジャンル、発売年、録音時間、作成日)が表示されます。



元に戻すには、再度 **戻る** にタッチします。

同じ曲を繰り返し聴く

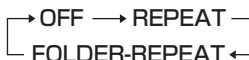
現在再生中の曲を、繰り返し聴くことができます(リピート再生)。

1 リピート にタッチする



演奏中の曲を繰り返し聴くことができます。

リピート にタッチするごとに、次のように切り替わります。



REPEAT	現在再生中の曲をリピートする
FOLDER-REPEAT	現在再生中のフォルダ内をリピートする
OFF	現在再生中のディスク全体をリピートする

- ① リピート再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

いつもと違う曲順で聴く

現在再生中のMP3ファイルを、いつもと違う曲順で再生することができます(ランダム再生)。

1 ランダム にタッチする



ランダムに演奏することができます。

ランダム にタッチすることにより、次のように切り替わります。



FOLDER-RANDOM	現在再生中のフォルダ内をランダムに再生する
RANDOM	現在再生中のディスク内をランダムに再生する
OFF	ランダムを取り消す

- ① FOLDER RANDOMは、現在再生中のフォルダ内の曲だけを再生します。フォルダ内にあるフォルダは、再生しません。
- ランダム再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ランダム再生は解除されます。

聴きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聴くことができます(スキャン再生)。

1 スキャン にタッチする



曲の始めをスキャンします。

スキャン にタッチすることにより、次のように切り替わります。



SCAN	現在再生中のフォルダ内をスキャンする
FOLDER-SCAN	各フォルダの先頭トラックをスキャンする
OFF	スキャンを取り消す

- ① スキャン再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、スキャン再生は解除されます。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2 聴きたい曲が再生されたら、再生中の曲名にタッチする

再生を一時停止する

MP3ファイルの再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 ポーズにタッチする



一時演奏を停止することができます。ポーズを取り消すには、再度**ポーズ**にタッチします。

① ポーズ中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ポーズは解除されます。


画面をリストオフ表示にする

画面をリストオフ表示にすることができます。

1  にタッチする

画面がリストオフ表示になります。



通常画面に戻すには、 にタッチします。

AV設定画面を表示する

AV設定画面を表示することができます(AV設定)。

1 AV設定にタッチする

AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了**にタッチします。

② 音質などを設定する場合は「音を調整する」(69P)以降を参照してください。

タイトル表示について

本機は、ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo(86P)に準拠して記録されたディスクに対応しています。CD-ROMモードはモード1のみ対応しています。

ディスクタイトルやトラックタイトル、アーティストネームは、ID3 Tag(86P)で入力したタイトルのみ表示されます。ID3タグがない場合は、フォルダ名、ファイル名を表示します。

リスト中のトラック名は、MP3のファイル名で表示されます。(ID3 Tagの曲名ではありません。)

MDを聴く

基本的なMDの聴きかた

この操作をしていただくだけで、MDを聴くことができます。

1 OPEN ボタンを押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

2 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてMDを差し込む

自動的に再生が始まります。

! MD挿入口にはMD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

i MDシャッターが閉まっているか確認してから挿入してください。

3 ディスクが奥まで挿入されたことを確認してから、もう一度 OPEN ボタンを押す

ディスプレイ部が閉じます。

ディスクタイトル

トラックNo. MDLP



トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

i ディスクを正しい方向で差し込んでください。

- 画面には、8曲分の曲リストが表示されます。9曲目以降の曲リストを表示させるには、**▼** または **▲** にタッチします。
- タイトルは、全角16文字(半角32文字)の表示ができます。(ただし、半角、全角の混在はできません。)
- タイトルが記憶されていない場合は、[No Title]と表示されます。
- 一部、表示できない文字があります。

4 曲リストの中の聴きたい曲をタッチする

9曲目以降の曲リストを表示させるには、**▼** にタッチします。

	前の曲を選ぶとき
	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、 をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、 をしばらく右に倒し続けます。

5 MDの再生を中止するには、SRC ボタンを長く押す

- i** を押してソースをMDに切り替えることもできます。その場合、MDが挿入されていないと、MDソースに切り替えることができません。
- MDをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。
- 既にMDが挿入されていて、他のソースからMDソースに切り替える場合は、 を押して、MDソースに切り替えます。

便利な機能

MDを聴く場合の便利な機能(リピート、ランダム、スキャン、ポーズ、MD音声の録音、リストオフ、AV設定)について説明します。走行中、操作できない機能もあります。

同じ曲を繰り返し聴く

現在再生中の曲を、繰り返し聴くことができます(リピート再生)。

1 リピートにタッチする



演奏中の曲を繰り返し聴くことができます。リピートを取り消すには、再度**リピート**にタッチします。

① リピート再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

いつもと違う曲順で聴く

現在再生中のMDを、いつもと違う曲順で再生することができます(ランダム再生)。

1 ランダムにタッチする



ランダムに演奏することができます。ランダムを取り消すには、再度**ランダム**にタッチします。

① ランダム再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ランダム再生は解除されます。

聴きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聴くことができます(スキャン再生)。

1 スキャンにタッチする



曲の始めをスキャンします。スキャンを取り消すには、再度**スキャン**にタッチします。

① スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2 聴きたい曲が再生されたら、スキャンにタッチする

① スキャン再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、スキャン再生は解除されます。

再生を一時停止する

MDの再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 ポーズにタッチする



一時演奏を停止することができます。ポーズを取り消すには、再度**ポーズ**にタッチします。

① ポーズ中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ポーズは解除されます。

MD音声を録音する

現在再生しているMD音声を録音することができます。

1 (HDD RECボタン)を押す

現在再生しているMD音声の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生できます。

録音中の表示



録音を停止するには、再度(HDD RECボタン)を押します。

ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止します。

画面をリストオフ表示にする

画面をリストオフ表示にすることができます。

1 (リストオフボタン)にタッチする

画面がリストオフ表示になります。



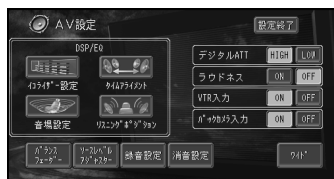
通常画面に戻すには、(リストオンボタン)にタッチします。

AV設定画面を表示する

AV設定画面を表示することができます(AV設定)。

1 [AV設定]にタッチする

AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了**にタッチします。

(音質調整ボタン) 音質などを設定する場合は「音を調整する」(69P)以降を参照してください。

交通情報を聞く

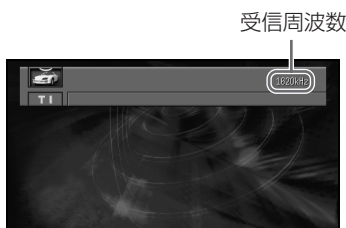
基本的な交通情報の聞きかた

交通情報の受信周波数AM 1,620kHz、1,629kHzを簡単に受信することができます。

i この機能は、ソースがOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

1 **TI** を押す

交通情報画面が表示されます。
前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



2 **⊕** を左右に倒して周波数を切り替える

⊖	1,620kHz にするとき
⊕	1,629kHz にするとき

3 もう一度 **TI** を押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前のソースに戻ります。

- i** 交通情報を受信しているときに、音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調節しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- 交通情報を受信しているときは **AV設定** を選ぶことはできません。

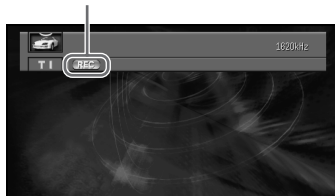
交通情報音声を録音する

現在受信している交通情報音声を録音することができます。

1 **⊙** (HDD RECボタン) を押す

現在受信している交通情報音声の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生できます。

録音中の表示



録音を停止するには、再度 **⊙** (HDD RECボタン) を押します。

ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止します。

ミュージックサーバーを利用する

ミュージックサーバーとは

ミュージックサーバーは、CDやラジオなどからハードディスクに録音した曲や音声をいろいろな方法で再生することができます。また、PCカード内のMP3ファイルを再生することもできます。ミュージックサーバーに録音された曲は、録音時に自動作成されたオリジナルプレイリストまたは、お好みに合わせて作成したユーザープレイリストにしたがって、再生することができます。

- i** • CDを録音するには、録音モードを設定する必要があります。
→「CD録音モードを設定する」(44P)
- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストは、プレイリスト名の頭につくマークで確認することができます。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト名の頭にOriginal(オリジナル)の「 O 」が表示される
ユーザープレイリスト	プレイリスト名の頭にUser(ユーザー)の「 U 」が表示される

- ➡** ユーザープレイリストを作成することができます。
→「新規のプレイリストを登録する」(47P)

基本的なミュージックサーバーの聴きか

登録されている全プレイリストが再生されます。

再生できるPCカード内のMP3ファイルについては、「再生できるMP3ファイルについて」(84P)を参照してください。

- i** • 全プレイリストが繰り返し再生されます。
• 再生順の編集や再生をす/しないの設定をすることができます。
→「プレイリストの再生順番を変更する」(50P)、「再生しないプレイリストを設定する」(52P)

- CD録音中に、ミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。録音中のCDの音声をお楽しみください。
- PCカード内のMP3ファイルはミュージックサーバーのプレイリストの最後に表示されます。
- 多くの階層を持つPCカードは再生が始まるまで時間がかかります。

1 を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える


2 聴きたいプレイリストにタッチする


プレイリストNo.
ソース | プレイリストタイトル



トラックタイトル
トラックNo. | 再生中トラックの経過時間


プレイリストを再生します。

 を上下に倒して、他のプレイリストを選択することもできます。

 を左右に倒して、プレイリスト内の前後の曲を選択することもできます。

早戻しする場合は、 をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、 をしばらく右に倒し続けます。


再生中のプレイリストには、 が表示されます。

すでに再生されているプレイリストをタッチした場合は、トラックリストに切り替わります。


3 ミュージックサーバーの再生を止めるには、 を長く押す

聴きたい曲を曲名より選択して聴く

プレイリスト内から聴きたい曲を選択して再生することができます。

1  を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

2 聴きたい曲が登録されているプレイリストにタッチする

再生中のプレイリストには、 が表示されます。




3 リスト切替 にタッチする


プレイリスト内の8曲分が表示されます。



9曲目以降の曲リストを表示させるには、


 にタッチします。

4 聴きたい曲にタッチする

選択した曲が再生され、再生中の曲に  が表示されます。


同名の曲名より選択して聴く

音声操作により、直接曲名を指定して再生できますが、同名の曲の場合、以下のように選択して再生することができます。

1  を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

2  を押す

音声で操作できる状態になります。


 音声認識語の表示については、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

3 聴きたい曲名を音声操作で指定する

同名リスト画面が表示されます。



4 聴きたい曲名にタッチする

選択した曲が再生され、再生中の曲に  が表示されます。

 同名のプレイリストも同様な操作で選択します。

便利な機能

ミュージックサーバーから音楽を聴く操作をしたり、詳細な設定をすることができます。

走行中、操作できない機能もあります。

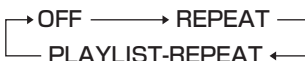
同じ曲を繰り返し聴く

再生中のプレイリストまたは、曲を繰り返し再生することができます(リピート再生)。

1 リピート にタッチする



リピート にタッチすることで、次のように切り替わります。



REPEAT	現在再生中の曲をリピートする
PLAYLIST-REPEAT	現在再生中のプレイリストをリピートする
OFF	リピートを取り消す

i リピート再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

いつもと違う曲順で聴く

再生中のプレイリスト内の曲または、全プレイリストの曲を、ランダムな曲順で再生することができます(ランダム再生)。

1 ランダム にタッチする



ランダム にタッチすることで、次のように切り替わります。



RANDOM	再生中のプレイリスト内からランダム再生される(他のプレイリストは選ばれない)
PLAYLIST-RANDOM	再生中のプレイリスト内からランダムに再生する。 1つのプレイリスト内をすべて再生すると、別のプレイリストをランダムに選択し、選択したプレイリスト内でランダムに再生する。
OFF	ランダム再生を取り消す

i ランダム再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ランダム再生は解除されます。

曲を検索して聴く

再生中のプレイリスト内の曲または、全プレイリストの先頭の曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聴くことができます(スキャン再生)。

1 スキャンにタッチする



スキャン にタッチするごとに、次のように切り替わります。



SCAN	現在再生中のプレイリストの全曲の始めの部分を再生する
PLAYLIST-SCAN	全プレイリストの先頭の曲の始めの部分を再生する
OFF	スキャン再生を取り消す

i スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2 聴きたい曲が再生されたら[OFF]にする

i スキャン再生中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、スキャン再生は解除されます。

再生を一時停止する

再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 ポーズにタッチする

ポーズ中の表示



一時演奏を停止することができます。

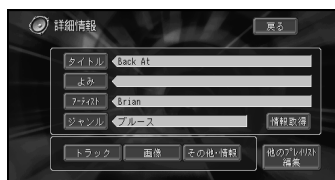
ポーズを取り消すには、再度 **ポーズ** にタッチします。

i 一時停止中にトラックリストからの選曲などの操作を行うと、ポーズは解除されます。

詳細情報を表示する

プレイリストの詳細情報(タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど)を表示することができます(詳細情報)。

1 詳細情報 にタッチする



元の画面に戻すには、**戻る** にタッチします。

画面をリストオフ表示にする

画面をリストオフ表示にすることができます。

1 画面をリストオフ表示にする にタッチする



画面がリストオフ表示になります。
通常画面に戻すには、**画面をリストオフ表示にする** にタッチします。

AV設定画面を表示する

AV 設定画面を表示することができます (AV設定)。

1 AV設定 にタッチする

AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了** にタッチします。

音質などを設定する場合は「音を調節する」(69P)以降を参照してください。

ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

- ❗ 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

CD録音モードを設定する

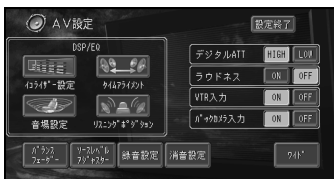
CDの録音モードを設定することができます。

- ➡ いろいろな方法で録音することができます。
 - 「CD再生中に自動的に録音する」(45P)、
 - 「手動によるCDの録音」(46P)、
 - 「CDの1曲目だけを自動的に録音する」(46P)

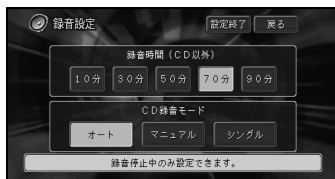
1 AV設定 にタッチする



2 録音設定 にタッチする



3 オート、マニュアルまたはシングルにタッチする



オート	CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音する
マニュアル	CDを再生しながら手動でミュージックサーバーへ録音する
シングル	CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音する

4 設定終了 にタッチして、設定を終了する

- ❗ 録音中は設定できません。

CD録音の制限について

■すべてのモード

- CD以外のソースに切り替えても、CDは停止せず、裏で録音を続けます。ただし、Ⓞ(HDD RECボタン)を押すと、録音が中止されます。
- 録音中は、本機の操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びしてもエラーが検出されなかった場合は、無音状態が録音されることがあります。
- 曲間の無いCDについては曲と曲の間が音飛びしたように録音されます。
- CDなどからデジタル録音したもの(CD-R、PCカードなど)から、さらにミュージックサーバーにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)により定められています。

■オート/シングルモード

- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- エンジンをOFFにすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンをONにすると、エンジンをOFFにしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。
- 選曲/早送り/早戻しすると、録音中の曲が消去され、次の曲から録音を開始します(オートモードのみ)。
- スキャン/一時停止すると、録音を中止します。
- 家庭用CDレコーダーで録音したCD-Rなど、コピー禁止のディスクからは録音できません。
- ミュージックサーバーの録音可能時間が、録音する曲の時間より短い場合は、録音されません。
- CD録音モードをシングルに切り替えると、次の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。

■マニュアルモード(1曲のみ)

- CDを再生中にCD録音モードをオートに切り替えてからⓄ(HDD RECボタン)を押すと、次の曲から録音を開始します。
- ミュージックサーバーの録音可能時間が録音するCDより短い場合は、録音されません。

CD再生中に自動的に録音する

CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音します。

- ➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

→「CD録音モードを設定する」(44P)

- ⓘ どのソースを聴いている時でも、録音を停止する場合はⓄ(HDD RECボタン)を押します。
- 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。

1 「CD録音モードを設定する」(44P)の録音モードを**オート**に設定する


2 CDを再生する

- ➡ 「基本的なCDの聴きかた」(28P)を参照してください。

録音中の表示*



※再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。リストにも未録音を示すマークがつかます。

- ⓘ 地図画面の場合、録音中は右上にが表示されます。

手動によるCDの録音

CDの曲を、手動でミュージックサーバーへ録音します。

➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

→「CD録音モードを設定する」(44P)

- ① 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。
- ・1曲録音すると、録音は終了します。

1 「CD録音モードを設定する」(44P)の録音モードを **マニュアル** に設定する

2 CD再生中、録音する曲で **Ⓞ** (HDD RECボタン)を押す

録音する曲の始めに戻って、録音を開始します。

録音中の表示(赤色)



- ① どのソースを聴いている時でも、録音を停止する場合は **Ⓞ** (HDD RECボタン)を押します。
- ・地図画面の場合、録音中は右上に **R** が表示されます。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音します。

➡ 録音モードの設定によって録音方法を選択することができます。

→「CD録音モードを設定する」(44P)

- ① 録音中にミュージックサーバーにソースを切り替えても、ミュージックサーバーの再生は行えません。

1 「CD録音モードを設定する」(44P)の録音モードを **シングル** に設定する

2 CDを再生する

➡ 「基本的なCDの聴きかた」(28P)を参照してください。

録音中の表示(赤色)



- ① どのソースを聴いている時でも、録音を停止する場合は **Ⓞ** (HDD RECボタン)を押します。
- ・地図画面の場合、録音中は右上に **R** が表示されます。

CD以外のソースを録音する

テレビ、FM/AM、VTR、MD、交通情報の音声をミュージックサーバーへ録音することができます。

i CD以外のソースの録音は、録音モードの設定にかかわらず常に行うことができます。

1 録音するソースに切り替える

2 (HDD RECボタン)を押す 録音を開始します。

録音中の表示(オレンジ色)



i 地図画面の場合、録音中は右上に **R** が表示されます。

- どのソースを聴いている時でも、録音を停止する場合は **(HDD RECボタン)** を押します。
- 1回の録音で1つのプレイリストが作成されます。
- 録音を停止するのを忘れて unnecessary 録音を行わないようにするために、オーディオメニューの **AV設定 - 録音設定 - 録音時間(CD以外)** で録音時間(10分、30分、50分、70分、90分)を設定することができます。
- ソースを切り替えたり、ACCをOFFにしても録音は停止します。

プレイリストの編集

新規のプレイリストを登録する

新しいプレイリストを登録します。いろいろな方法で曲を検索して、プレイリストに登録することができます。

1 **SRC** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

トラックリスト表示画面が表示されているときは、**リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

トラックリスト表示中に **詳細情報** にタッチしないと **他のプレイリスト編集** が出来ません。


2 **詳細情報** にタッチする



プレイリスト詳細情報画面が表示されません。

i プレイリストの種類には、オリジナルプレイリストとユーザープレイリストがあります。

O	オリジナルプレイリスト 録音時に自動的に作成される。プレイリスト名の頭にOriginal(オリジナル)の「O」が表示される
U	ユーザープレイリスト ユーザーが編集を行ったプレイリスト。プレイリスト名の頭にUser(ユーザー)の「U」が表示される

- 再生不許可が設定されているプレイリストには、が表示されます。
→「再生しないプレイリストを設定する」(52P)
- プレイリストは、999個まで作成可能です。

3 他のプレイリスト編集にタッチする



他プレイリスト選択画面が表示されます。再生している曲の編集を行う時は、この操作は不要です。

4 新規ユーザープレイリストにタッチする



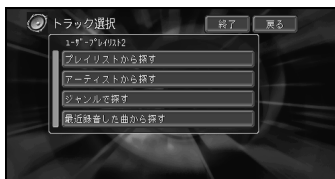
名称入力画面が表示されます。

5 名称を入力して、**入力終了**にタッチする



トラック選択方法選択画面が表示されます。

6 登録したい曲の検索方法を選んでタッチする

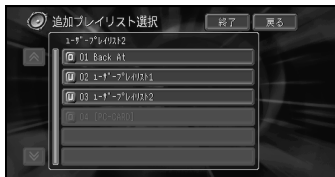


i 登録する曲の検索方法には以下の種類があります。

- プレイリストから探す
- アーティストから探す
- ジャンルで探す
- 最近録音した曲から探す

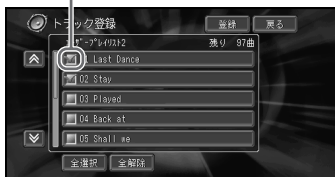
PCカード内のMP3ファイルは選択できません。

7 [プレイリストから探す]を選択した場合、登録したい曲のあるプレイリストを選んでタッチする



トラック登録画面が表示されます。

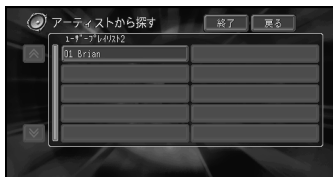
8 登録したい曲にタッチして選択する 選択すると、チェックマーク(✓)が表示されます。 再度タッチすると、選択が解除されます。 チェックマーク



- ① **全選択** にタッチした場合は、表示されている曲が全て選択されます。
- **全解除** にタッチすると全て解除されます。
- 全て選択する対象が99曲以上ある場合は、先頭から99曲までが選択されます。
- PCカードプレイリストは選択できません。

9 登録 にタッチする

10 [アーティストから探す]または[ジャンルで探す]を選択した場合、登録したい曲のあるアーティストまたはジャンルを選んでタッチする



トラック登録画面が表示されます。

11 手順8、9と同様に登録する

12 [最近録音した曲から探す]を選択した場合、手順8、9と同様に登録する

13 **終了** にタッチする

プレイリストの情報を編集する

登録されているプレイリストの情報を表示させて編集します。

① PCカードプレイリストは編集できません。

1 **src** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

2 情報を編集したいプレイリストを選んでタッチする



3 詳細情報 にタッチする

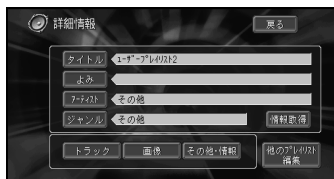


プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

4 編集したい項目にタッチする

① **その他・情報** にタッチすると表示される **録音時間**、**録音日**、**曲数**、**発売年**は、編集できません。

タイトル、よみ	文字入力画面になる
アーティスト	マニュアル: 文字入力画面になる リスト選択: アーティスト一覧画面になる
ジャンル	ジャンル選択画面になる



入力や選択が終了すると、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

- ② 文字の入力方法は『ナビゲーションブック』、「文字の入力操作」を参照してください。
- ③ **タイトル**、**アーティスト** (マニュアル入力)は、全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
 - **よみ** は、ひらがなを32文字まで入力できます。
 - **アーティスト** (リスト選択)、**ジャンル** は、項目にタッチします。
 - アーティスト一覧画面では、過去に入力されたり、タイトル情報が付加されたアーティストのリストが表示されます。(このアーティスト一覧に表示されるアーティストの編集はできません。)

5 戻る にタッチして、編集を終了する

プレイリストの再生順番を変更する

プレイリストを再生する順番を変更します。

- ① 通常の再生では、プレイリストの順番に繰り返し再生します。
 - PCカードプレイリストは編集できません。

1 SRC を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える → 39P

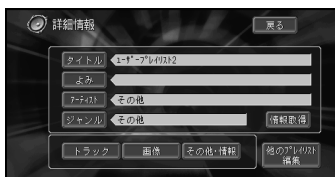
トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2 詳細情報 にタッチする



プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

3 他のプレイリスト編集 にタッチする



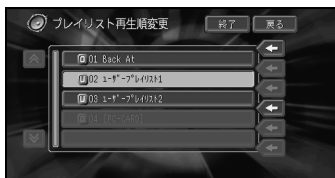
他プレイリスト選択画面が表示されます。

4 再生順変更 にタッチする



再生順変更画面が表示されます。

5 順番を変更したいプレイリストにタッチして、並び替えない位置の [戻る] にタッチする



- ① 移動対象の曲は水色で表示されます。

6 終了 にタッチして編集を終了する

- ① **戻る** にタッチすると、それまで行った編集内容が保存されます。PCカードプレイリストより下には並び替えることはできません。

プレイリストを消去する

いらなくなったプレイリストを消去します。

- ① プレイリストの種類により消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータも消去する
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去する。トラックデータは消去しない

- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
- PCカードプレイリストは消去できません。

1 [SRC] を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える → 39P

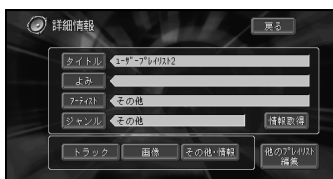
トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2 詳細情報 にタッチする



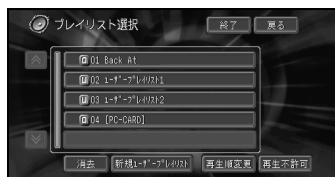
プレイリスト詳細情報画面が表示されません。

3 他のプレイリスト編集 にタッチする



他プレイリスト選択画面が表示されます。

4 消去 にタッチする

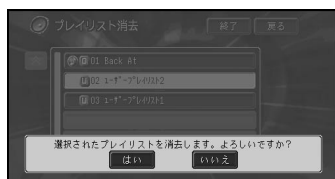


消去画面が表示されます。

5 消去したいプレイリストにタッチする



消去確認メッセージが表示されます。




6 はい にタッチする

消去しないときは **いいえ** にタッチします。

再生しないプレイリストを設定する

再生しないプレイリスト(再生不許可)を設定することができます。

- ① 通常の再生をした場合、再生不許可に設定したプレイリストは飛ばします。
- プレイリスト一覧では、プレイリストに  が表示されます。

1 SRC を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える → 39P

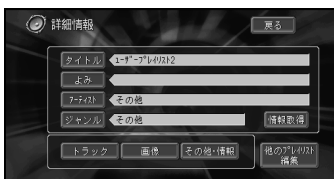
トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2 詳細情報 にタッチする



プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

3 他のプレイリスト編集 にタッチする



他プレイリスト選択画面が表示されます。

4 再生不許可 にタッチする



再生不許可設定画面が表示されます。
再生不許可の設定は、画面で確認できます。

5 再生しないプレイリストを選んでタッチする

選択されたプレイリストには  が付きます。

再生不許可の表示



- ① もう一度プレイリストにタッチすると、再生不許可の選択を解除します。

6 終了 にタッチする

再生不許可になります。

- ① 再生不許可は、次のプレイリストを再生したときから有効となります。

プレイリストに曲を追加する

プレイリストに曲を追加します。
曲の追加ができるのは、ユーザープレイリスト(プレイリスト名の頭に **U** が付いているもの)のみです。

いろいろな方法で曲を検索して、曲を追加することができます。

i 追加する曲の検索方法には以下の種類があります。

- ・プレイリストから探す
- ・アーティストから探す
- ・ジャンルで探す
- ・最近録音した曲から探す

1 **[src]** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える → 39P

2 トラックを追加したいプレイリストにタッチする

3 プレイリストが表示されているときは **[U]** **スト切替** にタッチする



トラックリスト表示画面が表示されます。

4 **詳細情報** にタッチする



トラック詳細情報画面が表示されます。

5 **他のトラック編集** にタッチする



他トラック選択画面が表示されます。

6 **トラック追加** にタッチする



トラック選択方法選択画面が表示されません。

7 「新規のプレイリストを登録する」(47P)の手順6以降を参照して操作する

プレイリストに画像を登録する

画像を設定しておく、そのプレイリストが再生されたときオーディオ画面の背景にその画像を表示させることができます。

- ① デジタルカメラなどで撮影した画像を設定するには、ナビゲーション本体に画像が保存されているPCカードをセットしてください。
- 対応している画像形式は、デジタルカメラの一般のjpeg形式の画像のみです。
- ファイル名は、フォルダ名+ファイル名+.jpgが255byte以内(半角を1文字で1byte、全角を1文字で2byte)のファイルのみがナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されない場合があります。その場合は、ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個以内になるように、PCカード内の画像ファイル数を減らしてください。
- PCカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリ含む)まで認識できます。
- プログレッシブJPEG方式は使用できません。

1 を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

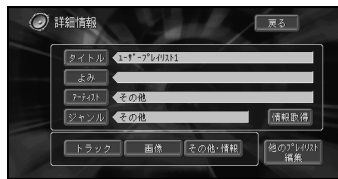
トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2 **詳細情報** にタッチする



プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

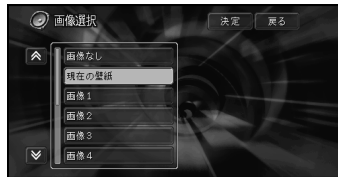
3 **画像** にタッチする



画像選択画面が表示されます。

4 **リスト** から画像を選んでタッチする

選択された画面が反転し、背景に表示されます。



- ① **画像なし** にタッチすると、初期設定の背景を表示します。
- **現在の壁紙** にタッチすると、プレイリストベース画面に戻ります。

5 **決定** にタッチする



画像配置選択が表示されます。

6 配置方法を選んでタッチする



- ① **中央** にタッチすると、選択された画像を画面の中央に表示します。
- **繰り返し** にタッチすると、選択された画像を画面の左上から順に繰り返し表示します。
- PCカードプレイリストは画像登録できません。

7 決定 にタッチして終了する

8 戻る にタッチする

トラックの情報を編集する

登録されているトラックの情報を表示させて編集します。

PCカード内のMP3ファイルのID3 Tagを変更しても、トラック情報が更新されないことがあります。その場合は、PCカード内からファイルを一度消去して再び保存してください。

1 [SRC] を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

2 編集したいトラックが登録されているプレイリストを選んでタッチする

3 リスト切替 にタッチする



ベーストラックリスト表示画面が表示されます。

4 編集したいトラックを選んでタッチする

5 詳細情報 にタッチする



トラック詳細情報画面が表示されます。

6 編集したい項目を選んでタッチする

- ① **録音ソース**、**録音時間**、**録音日** は、編集できません。

タイトル、よみ	文字入力画面になる
アーティスト	マニュアル入力 : 文字入力画面になる リスト選択 : アーティスト一覧画面になる
ジャンル	ジャンル選択画面になる



7 選んだ項目を編集する

入力が終了すると、トラック詳細情報画面に戻ります。

- ① → 文字の入力方法は「ナビゲーションブック」、「文字の入力操作」を参照してください。

- ① **タイトル**、**アーティスト** (マニュアル入力) は、全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
- **よみ** は、ひらがなを32文字まで入力できます。

つづく >>

- **アーティスト** (リスト選択)、**ジャンル** は、項目にタッチします。
- アーティスト一覧画面では、過去に入力されたり、タイトル情報が付加されたアーティストのリストが表示されます。このアーティスト一覧に表示されるアーティストの編集はできません。
- PCカードプレイリスト内のトラックは編集できません。

8 戻る にタッチして、編集を終了する

曲の再生順番を変更する

プレイリスト内の曲の順番を変更することができます。曲順の変更をできるのはユーザープレイリスト(プレイリスト名の頭に **U** が付いているもの)のみです。

➡ プレイリストの順番を変更することもできます。

→「プレイリストの再生順番を変更する」(50P)

❗ PCカードプレイリスト内のトラックは並び替えできません。

1 **SRC** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

2 順番を変更したい曲が登録されているプレイリストをタッチする

3 **リスト切替** にタッチする



ベーストラックリスト表示画面が表示されます。

4 詳細情報 にタッチする



トラック詳細情報画面が表示されます。

5 他のトラック編集 にタッチする



他トラック選択画面が表示されます。

6 再生順変更 にタッチする



再生順変更画面が表示されます。

7 順番を変更したい曲にタッチして、並び替えたい位置の **←** にタッチする



❗ 移動対象の曲は水色で表示されます。

8 **終了** にタッチして編集を終了する

曲を消去する

いらなくなった曲を消去します。

- ➡ プレイリストごと消去することもできます。
→「プレイリストを消去する」(51P)
- i プレイリストの種類により消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータも消去する
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去する。トラックデータは消去しない

- PCカードプレイリスト内のトラックは消去できません。
- オリジナルプレイヤー内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。

1 **[SRC]**を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

2 消去したい曲が登録されているプレイリストを選んでタッチする

3 **リスト切替**にタッチする



ベーストラックリスト表示画面が表示されます。

4 **詳細情報**にタッチする



トラック詳細情報画面が表示されます。

5 **他のトラック編集**にタッチする



他トラック選択画面が表示されます。

6 **消去**にタッチする



消去画面が表示されます。

7 消去したい曲にタッチする

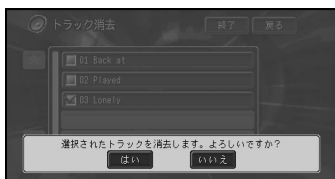
選択された曲にはチェックマーク(✓)が付きます。



- i もう一度曲にタッチすると、消去の選択を解除します。
- **全選択**にタッチして、全曲を選択することができます。

8 終了にタッチする

消去確認メッセージが表示されます。



i 戻るにタッチしても消去できます。

9 はいにタッチする

消去しないときは**いいえ**にタッチします。

アーティストを消去する

いらなくなったアーティストを消去します。

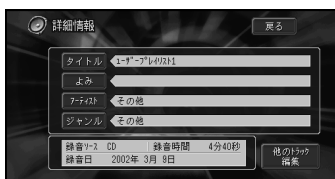
1 **SRC** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

2 詳細情報にタッチする



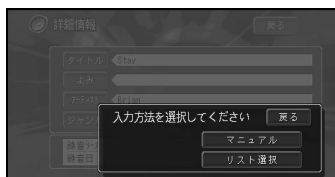
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

3 アーティストにタッチする



アーティスト選択画面が表示されます。

4 リスト選択にタッチする



5 消去にタッチする



消去画面が表示されます。

6 消去したいアーティストにタッチする
 選択されたアーティストにはチェックマーク(✓)が付きます。



i もう一度アーティストにタッチすると、消去の選択を解除します。
 ・アーティストを消去できるのは、録音数が0曲のアーティストのみです。

7 戻るにタッチする

消去確認メッセージが表示されます。



8 はいにタッチする

消去しないときは**いいえ**にタッチします。

タイトル情報を取得する

CDから録音されたプレイリストのタイトル情報を、本機内蔵またはインターネットのGracenote CDDDBのデータベース*1から取得することができます(タイトルサーチ)。

タイトル情報を取得することにより、ミュージックサーバーの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

- i** 以下の情報を取得することができます。
- ・ アルバムタイトル
 - ・ アルバムタイトルのよみ
 - ・ アルバムのアーティスト
 - ・ アルバムのジャンル
 - ・ アルバムの発売年
 - ・ トラックタイトル
 - ・ トラックタイトルのよみ
 - ・ トラックのアーティスト
 - ・ トラックのジャンル
 - ・ CDまたは曲によっては取得できない情報があります。
 - ・ タイトル情報の取得は、HDD(ハードディスク)→通信の順に探します。
 - ・ 通信で探すには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。
 - ・ 通信で探すときに携帯電話が接続されていないと、[通信で取得するには携帯電話の接続を確認してください。]のメッセージが表示され、タイトルサーチできません。
 - ・ 通信で探すときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、[携帯電話が使用中です。]のメッセージが表示され、タイトルサーチできません。

*1 Gracenote is CDDDB, Inc. d/b/a "Gracenote." CD-related data from Gracenote CDDDB®, copyright 1999, 2000 Gracenote. Gracenote CDDDB Client Software, copyright 1999, 2000 CDDDB, Inc. U.S.特許番号 No.5,987,525; No.6,061,680; No.6,154,773他、特許発行済み/申請中。

CDDDBはGracenoteの登録商標です。CDDDB, the Gracenote logo, Gracenote CDDDB Logo, Meta-Database, そしてthe Gracenote Logoは、Gracenoteの登録商標です。音楽認識技術とMRSIは、Gracenoteのサービス商標です。

音楽認識技術とMeta-Database™は、GracenoteとThe Gracenote CDDDB® Music Recognition Serviceが提供しています。Gracenoteは、音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

更に詳しい情報は、以下のWWWサイトにてご確認いただけます。

<http://www.gracenote.com>



※Gracenote CDDDBはパブリックなデータベースですので、本機内蔵のデータベース、インターネットのデータベースともに、データの内容を100%保証するものではありません。

※Gracenote CDDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。

※本商品を利用してのGracenote CDDDBのインターネットのデータベースへのアクセスは、2004年3月までご利用できます。

1 **SRC** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える →39P

2 情報取得したいプレイリストにタッチする

3 **詳細情報** にタッチする



プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

4 **情報取得** にタッチする

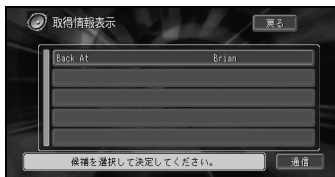


情報取得中画面の表示後、取得情報結果表示画面が表示されます。



① まず本機内蔵のHDD(ハードディスク)に収納されているデータベースを検索します。情報が無い場合は、「取得情報画面」になり、候補が表示されます。その中にも該当する情報が無い場合は、**通信**にタッチすると、携帯電話を使った通信により、Gracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得します。

5 登録したいタイトルにタッチする



戻る にタッチすると、タイトルは登録されません。[プレイリスト詳細情報]画面から**タイトル**を選んで、好みのタイトルを入力してください。

→「プレイリストの情報を編集する」(55P)

① • HDD(ハードディスク)でタイトルが見つからなかった場合は、**通信** ボタンが表示されます。

通信 にタッチすると、通信による情報取得を開始します。

• 情報の取得を通信で行った場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報取得を失敗することがあります。

• 通信による情報取得を失敗した場合、**再取得** にタッチして再度通信による情報取得ができます。

PCカードに記録されたMP3ファイルを聴く

基本的なPCカード内のMP3ファイルの聴きかた

この操作をしていただくだけで、PCカードに記録したMP3ファイルを聴くことができます。→「MP3ファイルについて」(84P)

1 **OPEN** ボタンを押す

ディスプレイ部が開き、PCカード挿入口があらわれます。

2 PCカード挿入口に、タイトル面を上にしてPCカードを差し込む

自動的に検索が始まります。

- ① PCカードを正しい方向で差し込んでください。
- PCカードに記録されたMP3が最後尾のプレイリストとしてミュージックサーバーに登録されます。
- ミュージックサーバーに登録されるまで、ミュージックサーバーの動作が多少遅くなることがあります。

3 PCカードが奥まで挿入されたことを確認してから、もう一度**OPEN** ボタンを押す

ディスプレイ部が閉じます。

4 **SRC** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

ソース プレイリストタイトル



▼ **リスト切替**
にタッチする



トラックNo. 再生中トラック
の経過時間



プレイリストの最後にPCカード内のMP3ファイルが追加されます。通常のプレイリストとして再生することができます。

→「ミュージックサーバーを利用する」(39P)

- ① PCカード内のMP3ファイルはID3 Tagからタイトル情報の取得できた場合は、ソースプレートにトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。
- PCカード内のMP3ファイルのプレイリストタイトルは[PC-CARD]です。
- PCカード内のMP3ファイル再生中にディスプレイを開くとハードディスク内の先頭のプレイリストを再生します。ハードディスク内のプレイリストが無い場合は再生が停止します。
- PCカード内のMP3ファイルの再生順番はMP3ファイルを作成した順番になります。パソコンでPCカードへ複数をまとめてコピーしたりフォルダごとコピーした場合はパソコンのファイルシステムに依存します。
- PCカード内のMP3ファイルはフォルダ表示できません。

- PCカードプレイリストの消去・並べ替え・詳細情報の編集およびPCカードプレイリスト内のトラックの消去・並べ替え・詳細情報の編集はできません。
- PCカードが挿入された状態で、エンジンスイッチをONまたは、ACCにしたとき、およびディスプレイを開閉したときは、自動的にPCカードの検索が始まります。
- PCカードプレイリストの曲の音声操作呼び出しはできません。
- PCカード内のMP3を再生中にディスプレイ部の開閉を行なうと、続きから再生されずに先頭のプレイリストの1曲目から再生されます。

5 PCカード内のMP3ファイルの再生を中止するには、 ボタンを長く押す

-  PCカードをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。
-  PCMCIAタイプII (5V)以外のPCカードは使用できません。規格の異なるPCカードを差し込むと、PCカード挿入口が破損するなどの故障の原因となります。
- PCカード内にたくさんのファイルを置くと起動が遅くなることがあります。
- 本機に使用するPCカードは、FATもしくはFAT32でフォーマットしてある必要があります。NTFSなどでフォーマットしてあるPCカードはご使用になれません。
- PCカードスロットに装着可能なメモリ媒体には保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 長時間PCカードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますので注意してお取扱いください。

TVモニターの設定

画質の調整をする

映像系(ナビゲーション、テレビ、VTR、バックカメラ)およびソース画面(CD、ミュージックサーバー、その他の画面)の画質を調整することができます。

走行中、操作できない機能もあります。

黒の濃さやコントラストを調整する

映像の黒の濃さ、明暗(コントラスト)を変更することができます。

i ナビゲーション、テレビ、VTR、バックカメラ、CD、ミュージックサーバー、その他の映像で、別々に設定内容を記憶します。またそれぞれイルミON/OFF別々に設定内容を記憶します。

1 調整したい映像の表示画面で、**画質**を押す

画質調整画面が表示されます。

2 **黒の濃さ** または **コントラスト** の **-** または **+** にタッチして、設定を調整する



ボタン	黒の濃さ	コントラスト
-	薄くなる	白黒の差が小さくなる (暗くなる)
+	濃くなる	白黒の差が大きくなる (明るくなる)

3 **設定終了** にタッチして、終了する

色の濃さや色あいを調整する

お好みに合わせて、映像の色の濃さ、色あいを変更することができます。

- i**
- テレビ、VTR、バックカメラの映像で別々に設定内容を記憶します。
 - ナビゲーションの映像では、設定調整できません。

1 調整したい映像の表示画面で、**画質**を押す

画質調整画面が表示されます。

2 **色の濃さ** または **色あい** の **-** または **+** にタッチして、設定を調整する



ボタン	色の濃さ	色あい
-	薄くなる	赤が強くなる
+	濃くなる	緑が強くなる

3 **設定終了** にタッチして、終了する

液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。

i ナビゲーション、テレビ、VTR、バックカメラ、CD、ミュージックサーバー、その他の映像で、別々に設定内容を記憶します。またそれぞれイルミON/OFF別々に設定内容を記憶します。

1 調整したい映像の表示画面で、**画質**を押す

画質調整画面が表示されます。

2 [明るさ] の **-** または **+** にタッチして、設定を調整する



-	画面を暗くするとき
+	画面を明るくするとき



3 **設定終了** にタッチして、終了する

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

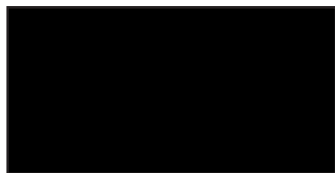
1 調整したい映像の表示画面で、**画質**を押す

画質調整画面が表示されます。

2 **画面消し** にタッチする

画面が消えます。

もう一度画面をタッチすると、画面を表示します。



画面が消えている状態（バックライトがOFF）のときに、エンジンをOFFにして、再度ONにした場合は、バックライトはONされます。

i 画面を消しているときは、音声認識コントローラーでの操作はできません。

ワイド画面の拡大方法を切り替える

テレビおよびVTRの映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

- ① 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- テレビ、VTRで設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションやソースの壁紙の映像は、ワイドモードの切り替えはできません。

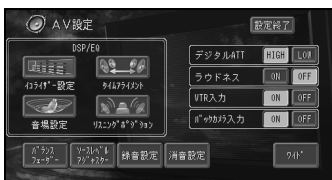
1 **src**を押して、テレビ、VTRのいずれかの映像画面を表示させる

2 **AV設定**にタッチする



AV設定画面になります。

3 **ワイド**にタッチする



ワイド設定画面になります。

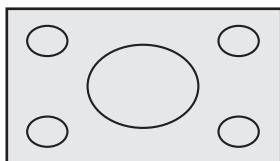
4 変更するモードを選んでタッチする



- ① 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は映像ソース（TV、VTR）でのみ可能です。
- 走行中は設定できません。

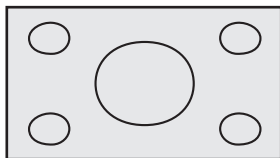
5 **設定終了**にタッチして終了する

ワイドモードの種類



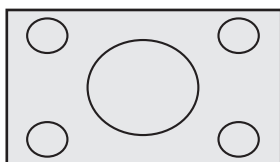
FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



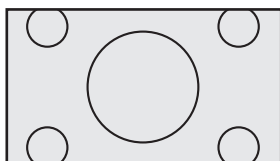
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



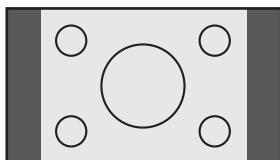
CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ZOOM (ズーム)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

VTRを見る

VTRソースに切り替えてVTRの映像を見ます。

ⓘ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、ディスプレイ部でVTRの映像を見られます。走行中は安全のためにディスプレイ部には、VTRの映像は表示されません。

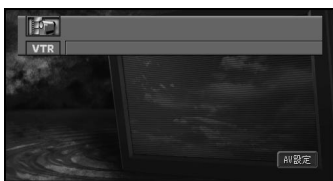
1 を押して、ソースを [VTR] に切り替える

ビデオ画面が表示されます。

映像がナビゲーション画面のときに、ソースを [VTR] にした場合は、音声のみ切り替わります。



ⓘ 走行中には、以下の画面が表示されます。安全のためにディスプレイ部には、VTRの映像は表示されません。



2 にタッチする

VTRの映像が表示されます。

元の画面に戻るには、画面をタッチします。

ⓘ VTRの映像を表示させるには、AV設定の「VTR入力」をONにする必要があります。

バックカメラに切り替える





市販のバックカメラなどを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーをリバースの位置にすると後画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

1 バックギアを入れる

現在、表示中の映像がバックカメラの映像に切り替わります。



シフトレバーを他のギアに切り替えると、映像は元の映像に切り替わります。

- ⓘ 写真はイメージです。
- バックカメラの映像を表示させるには、AV設定の「バックカメラ入力」をONにする必要があります。
- バックカメラ表示中に 、、、 を押すと、バックカメラ映像は解除します。
- バックカメラの使いかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- ナビゲーションの初期学習が終了していない場合やナビゲーション起動中は、バックカメラには切り替わりません。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。

VTRやバックカメラを見られるようにする

この操作をしていただくことで、VTRやバックカメラの入力をONにすることができます。

VTRの入力を設定する

VTRの映像を見るためには、以下の設定を行ってください。

1 **NAVI/AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



AV設定画面になります。

3 **[VTR入力]** の **ON** にタッチする



VTRの映像を見ないときは、**OFF** にタッチします。

4 **設定終了** にタッチする

バックカメラの入力を設定する

バックカメラの入力を設定することができます。

1 **NAVI/AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



AV設定画面になります。

3 バックカメラを表示する場合は、**[バックカメラ入力]** の **ON** にタッチする



バックカメラを表示しない場合は、**OFF** にタッチする

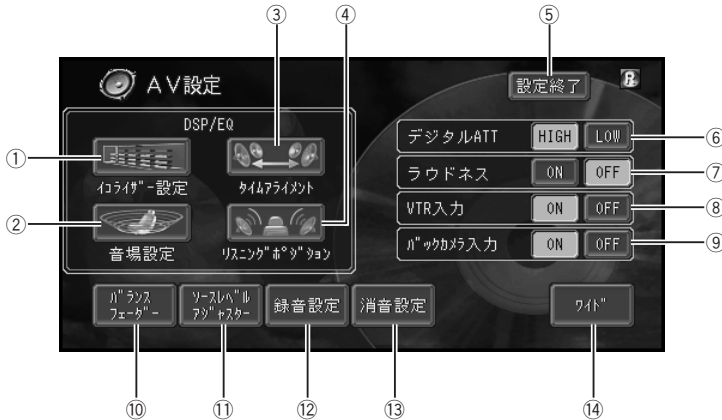
4 **設定終了** にタッチして終了する

音を調整する

お好みに合わせてオーディオの音などを調整することができます。

AV設定画面

音質や録音・消音の設定およびワイド設定・VTR入力設定などを行います。



① イコライザー設定

イコライザーカーブを設定します。→「イコライザーカーブを選ぶ」(74P)

② 音場設定

イメージにあった音場を設定します。→「イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する」(76P)

③ タイムアライメント

スピーカーとリスニングポジションまでの距離を設定します。→「車種に合ったタイムアライメントを選ぶ」(78P)「タイムアライメントを詳細に設定する」(79P)

④ リスニングポジション

乗車位置などに合わせて聞く位置を設定します。→「音場の中心で聞く」(78P)

⑤ 設定終了

設定を終了します。

⑥ デジタルATT

イコライザーカーブによる音の歪みを補正します。→「音の歪みを補正する」(80P)

つづく >>

⑦ **ラウドネス**

小音量時のメリハリを設定します。→「小音量時の音にメリハリをつける」(72P)

⑧ **VTR入力**

VTRの入力を設定します。→「VTRの入力を設定する」(68P)

⑨ **バックカメラ入力**

バックカメラの入力を設定します。→「バックカメラの入力を設定する」(68P)

⑩ **バランスフェーダー**

前後左右の音量バランスを設定します。→「前後左右の音量バランスを調整する」(71P)

⑪ **ソースレベルアジャスター**

ソースを切り替えたときに音を揃える設定を行います。→「各ソースの音量の違いをそろえる」(72P)

⑫ **録音設定**

録音時の設定を行います。→「録音時間(CD以外)を設定する」(81P)

⑬ **消音設定**

消音する状況を設定します。→「音声案内がよく聞こえるようにする」(73P)

⑭ **ワイド**

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択します。→「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(65P)

i AV設定内の画面を表示中に、ハンズフリー音声、音声案内などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。

前後左右の音量バランスを調整する

前後左右の音量バランスを調整することができます（バランスフェーダー）。

1 **NAVI** **AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



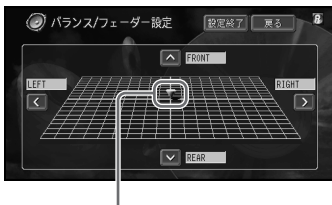
AV設定画面になります。

3 **バランスフェーダー** にタッチする



バランスフェーダー設定画面になります。

4 **▲** または **▼** にタッチして、前後のバランスを調節する



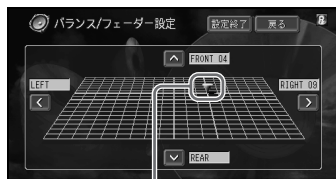
カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。

▲ 前スピーカーの音を強めるとき

▼ 後スピーカーの音を強めるとき

i FRONT25～REAR25の範囲で調整できます。

5 **<** または **>** にタッチして、左右のバランスを調節する



カーソルの位置で左右の音のバランスを確認できます。

< 左側スピーカーの音を強めるとき

> 右側スピーカーの音を強めるとき

i LEFT25～RIGHT25の範囲で調整できます。

6 **設定終了** にタッチして終了する

小音量時の音にメリハリをつける

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます（ラウドネス）。

i 初期値は、OFFに設定されています。

1 **NAVI** **AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



AV設定画面になります。

3 ラウドネスを働かせる場合は、**「ラウドネス」**の**ON**にタッチする



ラウドネスを働かせない場合は、**OFF**にタッチする

4 **設定終了** にタッチして終了する

各ソースの音量の違いをそろえる

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます（ソースレベルアジャスター）。

i FMの音量を基準に他のソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。

- AM、テレビ/VTR、MD、CD/MP3ディスク/ミュージックサーバーのそれぞれの音量を調整することができます。また、交通情報は調整できません。AMと同じ設定になります。テレビとVTRおよびCDとMP3とMSVは同じ設定になります。

1 **NAVI** **AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



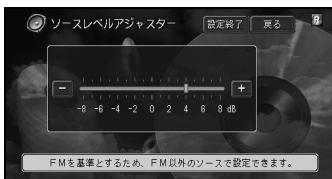
AV設定画面になります。

3 **ソースレベルアジャスター** にタッチする



ソースレベルアジャスター設定画面になります。

4 **−** または **+** にタッチして、レベルを調整する



−	現在のソースの音量が下がる
+	現在のソースの音量が上がる

i ±0を基準に±4段階の範囲で調整が可能です。

5 **設定終了** にタッチして終了する

音声案内がよく聞こえるようにする

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声聞き取りやすくすることができます。

1 **NAVI/AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



AV設定画面になります。

3 **消音設定** にタッチする



消音設定画面になります。

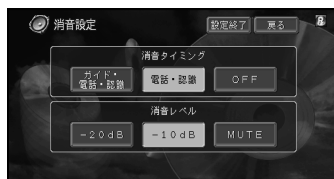
4 消音のタイミングを選んでタッチする



ガイド・電話・認識	消音のタイミングをガイド・電話・認識に合せる
電話・認識	消音のタイミングを電話・認識に合せる
OFF	消音しない

i 初期値はガイド・電話・認識に設定されています。

5 消音の種類を選んでタッチする



i 初期値は、−10dBに設定されています。

−20dB	音量が $1/10$ になる
−10dB	音量が $1/3$ になる
MUTE	音量が0になる

i 消音タイミングがOFFのときは消音レベルは設定できません。

6 **設定終了** にタッチして終了する

音場と音質の調整

お好みの音場設定を楽しむことができます。

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

① 初期値は、POWERFULに設定されています。

1 **NAVI**を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定**にタッチする



AV設定画面になります。

3 **イコライザー設定**にタッチする



イコライザー設定画面になります。

4 お好みのイコライザーカーブを選んでタッチする



① CUSTOM1とCUSTOM2はお好みに合わせて調整することができます。

- FLATはイコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、効果を確かめることができます。

5 **設定終了**にタッチして終了する

イコライザーカーブを大きめに補正する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調整することで、お好みの音質をつくることができます。

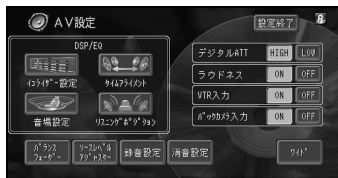
1 **NAVI**を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定**にタッチする



AV設定画面になります。

3 **イコライザー設定**にタッチする



イコライザー設定画面になります。

4 お好みのイコライザーカーブを選んでタッチする



5 [ニュアンスコントロール]の+または-にタッチして、イコライザーカーブを調整する

+	レベルを上げるとき
-	レベル下げるとき

- ① 最大±6の範囲で調整できます。POWERFUL、NATURAL、VOCALの3つは、下限が-5です。
- FLATを選択した場合は、イコライザーカーブを調整できません。CUSTOM1、CUSTOM2を選んだ場合もニュアンスコントロールの+ -はタッチできません。(CUSTOM1、CUSTOM2がFLATになっているとき)

6 設定終了にタッチして終了する

イコライザーカーブを細かく調整する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調整することができます。

1 NAVI (音) を押して、オーディオ画面を表示させる

2 AV設定にタッチする



AV設定画面になります。

3 イコライザー設定にタッチする



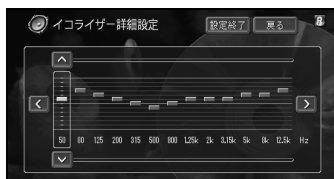
イコライザー設定画面になります。

4 詳細設定にタッチする



イコライザー詳細設定画面になります。

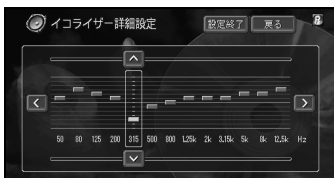
5 < または > にタッチして、調整する周波数を選ぶ



選べる周波数 (Hz)

50、80、125、200、315、500、800、1.25k、2k、3.15k、5k、8k、12.5k

6 ▲ または ▼ にタッチして、レベル調整をする



▲	強めるとき
▼	弱めるとき

i ±0を基準に±6段階の範囲で調整ができます。

7 設定終了 にタッチして終了する

- i** CUSTOM1は、ソースごとに記憶されます。CDとMP3とMSV、AMとFM、TVとVTRは、それぞれ同じ設定になります。
- CUSTOM2は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- CUSTOM2以外のカーブを選んでいるときにレベル調整すると、CUSTOM1に記憶されます。
- CUSTOM2のカーブを選んでいるときに、レベル調整するとCUSTOM2に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときには、調整できません。
- 走行中は操作できません。

イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する

リアルな音場を設定することができます(SFC)。

- i** 初期値は、OFFに設定されています。
- SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。

1 NAVI を押して、オーディオ画面を表示させる

2 AV設定 にタッチする



AV設定画面になります。

3 音場設定 にタッチする



音場設定画面になります。

4 お好みの音場にタッチする



各音場にタッチすると、反転して選択(ON)されたことを表示します。再度タッチすると選択が解除(OFF)されます。

5 OCTAVERを切り替える場合、**OCTAVER**にタッチする



OCTAVER選択画面になります。

6 **OCTAVER 1**または**OCTAVER 2**にタッチする

7 BBEのレベルを調整する場合、**BBE**にタッチする

BBE設定画面になります。



BBEのレベル調整

+	レベルを上げるとき
-	レベルを下げるとき

i 最大±4の範囲で調整できます。

この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound, Inc.の登録商標です。

8 **設定終了**にタッチして終了する

STUDIO

CDのような音楽ソースを録音する場所である録音スタジオモニタールームを再現しています。音像を正面に定位し、残響音は付加しません。比較的狭いミキシングルーム壁面からの初期反射音を処理することで、基本的な音場を再現しています。

CLUB

50人程度入れるディスコを再現しています。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を聞くのに適しています。

CONCERT

1000~2000人規模のクラシック音楽専用ホールを再現しています。反射音と残響音により、音の広がりや奥行き感を楽しむことができます。

DOME

ドームスタジアムでのライブ演奏をイメージしています。遠くの壁面からの反射音によりエコー音が生じます。その効果でドームスタジアムの広さを感じられる音場を再現しています。

OCTAVER 1/2

超低音を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聞くことができます。OCTAVER 2のほうが、OCTAVER 1よりも低音を強調する効果があります。


BBE

高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締まりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再現することができます。

音場の中心で聞く

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます(リスニングポジションセレクター)。

初期値はOFFです。

1  を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



AV設定画面になります。

3 **リスニングポジション** にタッチする



リスニングポジション画面になります。

4 お好みのポジションにタッチする



再度タッチすると、OFFになります。

FRONT-R

右ハンドル車に運転者のみがいるとき

FRONT-L


左ハンドル車に運転者のみがいるとき

FRONT


同乗者が助手席にいる場合

ALL

同乗者が後部座席にいる場合


 選択範囲が表示されていないときはOFFになっています。


5 **設定終了** にタッチして終了する

 音量バランスの微調整は、「前後左右の音量バランスを調整する」(71P)で行います。

車種に合ったタイムアライメントを選ぶ

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中からお車に合ったものを選ぶことで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

-  初期値は、SEDANに設定されています。
- 車種別タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。
- 車種別タイムアライメントは、車種に合ったタイムアライメントをあらかじめ記憶していますので、車種を選ぶことで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1  を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



AV設定画面になります。

3 タイムアライメント にタッチする

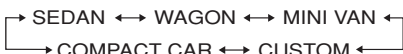


タイムアライメント画面になります。

4 ◀または▶ にタッチして、車のタイプを選ぶ



◀または▶をタッチごとに、以下のように切り替わります。



① CUSTOMには、お好みに合わせて**詳細設定**で調節したタイムアライメントが記憶されます。

5 設定終了 にタッチして終了する

タイムアライメントを詳細に設定する

車種別タイムアライメントとリスニングポジションを設定することで、自動的にタイムアライメントは設定されますが、タイムアライメント（詳細設定）モードではさらに厳密に調整することができます。

- ① リスニングポジションでFRONT-LかFRONT-Rを選んでいないと、タイムアライメントを調整することができません。
- タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離の違いによる音声の到達時間のズレを補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。
- 走行中は操作できません。

1 NAVI/AV を押して、オーディオ画面を表示させる

2 AV設定 にタッチする



AV設定画面になります。

3 タイムアライメント にタッチする



タイムアライメント画面になります。

4 詳細設定 にタッチする



タイムアライメント詳細設定画面になります。

5 ◀ または ▶ にタッチして、設定するスピーカーを選ぶ



◀ または ▶ にタッチすることにより、以下のように切り替わります。



5 - または + にタッチして、座席からスピーカーまでの距離を設定する

-	距離を近くするとき
+	距離を遠くするとき

- ① 0~400cmの範囲で設定が可能です。
- スピーカーまでの距離を2.5cmステップで調整できます。
- 走行中は操作できません。

6 設定終了 にタッチして終了する

音の歪みを補正する

デジタルATT (アッテネーター) はイコライザーカーブの調整による音の歪みをなくすることができます。

- ① 初期値は、HIGHに設定されています。
- イコライザーカーブの調整(「イコライザーカーブを細かく調整する」(75P))で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んだように感じたときは、デジタルATT (アッテネーター) の設定をLOWに切り替えてください。

1 NAVI を押して、オーディオ画面を表示させる

2 AV設定 にタッチする



AV設定画面になります。

3 [デジタルATT] のHIGHまたはLOW にタッチして、レベルを選ぶ



4 設定終了 にタッチして終了する

録音時間（CD以外）を設定する

録音時間を10分、30分、50分、70分、90分の中から設定できます。設定された時間になると自動的に録音が停止します。

- ① 初期値は70分です。
- 録音中は設定を変えることができません。

1 **NAV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする



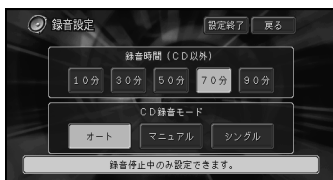
AV設定画面になります。

3 **録音設定** にタッチする



録音設定画面になります。

4 **録音時間（CD以外）** から設定する時間を選んでタッチする



5 **設定終了** にタッチして終了する

その他の機能と付録

音声で操作できる機能

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、おもな機能进行操作することができます。

CD/MD/MP3	ソース切り替え トラックアップ/ダウン
MP3 ミュージック サーバー	トラック番号ダイレクト選曲
MP3	フォルダアップ/ダウン
ミュージック サーバー	ソース切り替え プレイリストアップ/ダウン トラックアップ/ダウン プレイリスト名指定 トラック名指定
テレビ・VTR	ソース切り替え/チャンネル 切り替え(TV)
テレビ	チャンネル番号ダイレクト 放送局名ダイレクト バンド切り替え
FM/AM	ソース切り替え 放送局切り替え(UP/DOWN) 放送局名ダイレクト バンド切り替え

① トラック名指定は、再生中のプレイリストに含まれる曲のみ対象となります。

➡ 詳しくは、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

本機のリセットのしかた

次のようなときは、本機のリセットボタンを押して、マイコンをリセットしてください。

- ・接続が終わった後
- ・本機が正しく動作しないとき
- ・画面が正しく表示されないとき

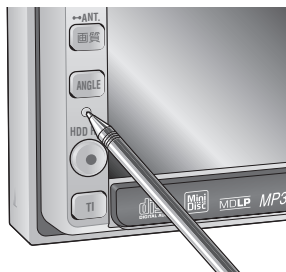
❗ 本機は、リセットボタンを押すとディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。リセットボタンを押すときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対にリセットボタンを押さないでください。

リセットすると

- ・MSV、CD、MP3、MDの前回再生のトラックはクリアされます。
- ・TV、FM/AMのプリセットもクリアされます。
- ・AV設定もクリアされます。

リセットする

- 1 ボールペンの先などで、リセットボタンを押す



❗ 本機のリセットボタンを押しても、登録地点やルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されませんので安心ください。

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

- ➡ 接続のしかたは「取付説明書」を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、本機で表示されている映像が表示されます。ただし、テレビまたはVTRのときは、本機の映像に関係なく、常にテレビまたはVTRの映像が表示されます。
- リアモニターは、走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。このため、走行中でもテレビやVTRの映像を見ることができます。
- バックカメラ映像はリアモニターに出力されません。

- ⚠ リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

- i リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本体に表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによって異なります。

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。
使用温度範囲：-10度～+50度
保存温度範囲：-20度～+80度
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。



液晶画面について

- TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)がでることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

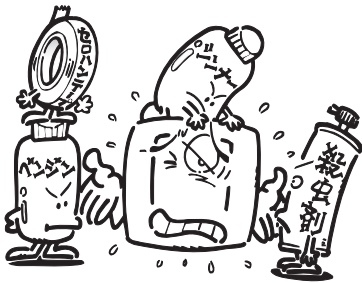
小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は、消耗品で寿命があります。

- 蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

- 画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。
- 画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- めれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。




MP3ファイルについて

MP3とは？

MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです(86ページ)。

再生できるMP3ファイルについて

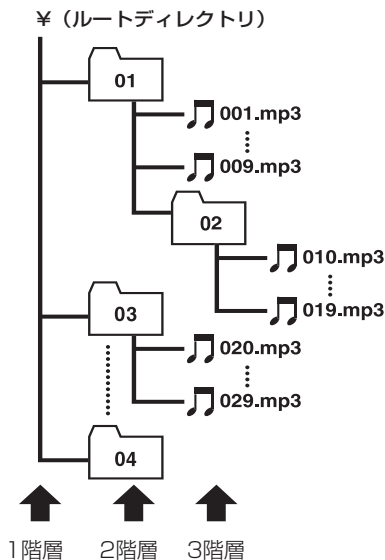
- 本機はMP3ファイルのCD-ROM(CD-ROMモードはモード1のみ対応)、またはCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo(86ページ)に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
-  MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。**
- マルチセッション(86ページ)対応で記録したディスクは、最初のセッションのみ再生することができます。
- ID3-Tag(86ページ)のVer1.1のalbum(Disc Titleとして表示)、track(Track Titleとして表示)、artist(Track Artistとして表示)、発売年の表示およびVer2.xに対応しています。
- 44.1 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1 kHzです。)

- 対応するビットレートは8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128 kbpsです。
- パケットライト (86ページ) には対応していません。
- m3u (86ページ) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive)、mp3 PRO フォーマットには対応していません。
- VBR(可変ビットレート)には対応していません。

- MP3ファイルを含まないフォルダは、認識しません。
- 8階層(ルートディレクトリを含む)までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル数の上限は400、フォルダ数の上限は256です。
- PCカード内のMP3ファイルはフォルダ表示できません。

フォルダとMP3ファイルについて

- MP3ファイルを収録したCD-ROMのイメージは下図のようになります。



- **i** Mixed Mode CDのデータトラックは、再生経過時間を表示しますが、音声は出力されません。音楽トラックのみ再生します。

MP3用語の解説

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (ATRAC3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1:

ファイル名は、8.3形式 (半角英大文字と半角数字、“_”で名前は8文字以下、拡張子は3文字以下)で、各フォルダの階層は8つ以下

レベル2:

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む) で、各フォルダの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet: ファイル名は、最大で64文字

Romeo: ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

VBR(バイビーアール)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
→「本機のリセットのしかた」(P82)

それでも直らないときは

『スタートブック』、「保証書発行兼お客様登録カード」とアフターサービスを
をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 →『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 →「本機のリセットのしかた」
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「CD/MDの正しい使いかた」
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →『スタートブック』、「再生できるディスクの種類」
エンジンスイッチをONまたはACCIにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さまたは色あいの調整が適切でない。	色の濃さまたは色あいを調整してください。→「色の濃さや色あいを調整する」(63P)
映像の色あいがおかしい。		
映像が明るい。 映像が暗い。	コントラストの調整が適切でない。	コントラストを調整してください。 →「黒の濃さやコントラストを調整する」(63P)

故障かな？と思ったら

共通項目(つづき)

症 状	原 因	処 理
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	
映像がキザキザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	
液晶画面が暗い。	明るさの調整が適切でない。	明るさを調整してください。 →「液晶画面の明るさを調整する」(64P)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	接続が間違っている。	接続を確認してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。
	アッテネータがONになっている。	アッテネータを解除してください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。 →「前後左右の音量バランスを調整する」(71P)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。 →「前後左右の音量バランスを調整する」(71P)

故障かな？と思ったら

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 →「基本的なテレビの見かた」(18P)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 →「基本的なテレビの見かた」(18P)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、 雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「基本的なテレビの見かた」(18P)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオ受信中に“ジージー、 ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 →「基本的なラジオの聞きかた」(24P)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 →「基本的なラジオの聞きかた」(24P)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「基本的なラジオの聞きかた」(24P)

MD

症 状	原 因	処 置
MDソースに切り替わらない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
MD再生中に、大きな 雑音が出る。 MDの再生が途中で止 まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDの汚れを拭き取ってください。
	MDにくもりや水滴がつ いている。	MDのくもりや水滴を拭き取ってください。 →「スタートブック」, 「CD/MDの正しい使 いかた」
	録音されていないMDを 挿入した。	MDを交換してください。
	MDが正しい方向で挿入 されていない。	MDを取り出して正しい方向に挿入してくだ さい。 →「基本的なMDの聴きかた」(35P)

故障かな?と思ったら

CD/MP3ディスク

症 状	原 因	処 置
CD再生中に、大きな雑音が出る。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。それでは良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「CD/MDの正しい使いかた」
	CDにくもりや水滴がついている。	CDのくもりや水滴を拭き取ってください。
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

MP3ディスク/MP3ファイル

症 状	原 因	処 置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
MP3ファイルを再生できない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録したディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレート(8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128 kbps)で記録してください。
	CD-ROMモードがモード1で記録されていない。	モード1で記録してください。
MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聴きたいMP3ファイルが見つからない。	マルチセッションで記録したディスクを再生している。	本機は、マルチセッションに対応しておりません。(マルチセッションで記録した場合、最初のセッションのみ再生します。)
	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。

故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処 置
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録したディスクに交換してください。
MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

症 状	原 因	処 置
プレイリストが再生できない。	プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 →「再生しないプレイリストを設定する」(52P)
	ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 →「再生を一時停止する」(42P)
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →「CD録音の制限について」(45P)
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	電話が接続されていない。	電話の接続を確認してください。
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

共通項目

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →「本機のリセットのしかた」(82P)
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

CD/MP3ディスク

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「CDの正しい使いかた」
再生ができません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「CDの正しい使いかた」
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→『スタートブック』、「再生できるディスクの種類」
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→『スタートブック』、「再生できるディスクの種類」
高温、または低温のため、CDが再生できません。ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

MD

メッセージ/(エラー番号)	原因	処置
[高温、または低温のためMDが再生できません。ディスクをとりだしてください。]	本機の内部温度が高い、または低いとき	MDディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
[ERROR 11,12,17,30]	MDが汚れているとき MDにキズやひびがあるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき MDに異常(損傷している、TOC*が入っていないなど)があるとき	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
[ERROR 22,24]	MDに異常(損傷している、TOC*が入っていないなど)があるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 23]	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき	音楽が録音されたMDを使用してください。
[ERROR 01,11,12,17,30,A0]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生をしてください。
[ERROR A1]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押して、もう一度MD再生をしてください。 →「本機のリセットのしかた」(82P)
[ERROR]	MDが何らかの原因で再生しないとき	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 →「本機のリセットのしかた」(82P)
[Blank MD]	何も録音されていないMDを挿入したとき	他のMDと交換してください。

* TOC(Table Of Contents)とは、CD、MD、DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

ミュージックサーバー

メッセージ	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
HDD容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →「プレイリストを消去する」(51P)、 「曲を消去する」(57P)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーのデータ転送に失敗しました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	録音・再生プログラムに異常がある。	販売店またはサービスステーションに御相談ください。

こんなメッセージが表示されたら

索引

メニュー索引

CD	リピート	▶	P29	
	ランダム	▶	P29	
	スキャン	▶	P29	
	ポーズ	▶	P30	
	AV設定	▶	P30	
		▶	P30	
MP3	リピート	▶	P32	
	ランダム	▶	P33	
	スキャン	▶	P33	
	ポーズ	▶	P34	
	詳細情報	▶	P32	
	AV設定	▶	P34	
		▶	P34	
	上へ	▶	P31	
MSV	リピート	▶	P41	
	ランダム	▶	P41	
	スキャン	▶	P42	
	ポーズ	▶	P42	
	詳細情報	▶	タイトル ▶ P49、55 よみ ▶ P49、55 アーティスト ▶ P49、55、58 ジャンル ▶ P49、55 他のトラック編集 ▶ P53、56、57 画像 ▶ P54 その他・情報 ▶ P49 情報取得 ▶ P60 他のプレイリスト編集 ▶ P48、50~52	
	AV設定	▶	P43	
リスト切替	▶	P40、61		
	▶	P43		
TV	リアユーザー	▶	P20	
	BSSM	▶	P21	
	BAND	▶	P21	
	多重	▶	P22	
	リストOFF	▶	P23	
	AV設定	▶	P23	
		▶	P22	
	FM	リアユーザー	▶	P25
		BSM	▶	P26
		BAND	▶	P24
AV設定		▶	P27	
		▶	P27	
MD		リピート	▶	P36
	ランダム	▶	P36	
	スキャン	▶	P36	
	ポーズ	▶	P36	
	AV設定	▶	P37	
		▶	P37	
VTR	AV設定	▶	P67	
		▶	P69	
AV設定	イコライザー設定	▶	P74	
	タイムアライメント	▶	P79	
	音場設定	▶	P76	
	リスニングポジション	▶	P78	
	デジタルATT	▶	P80	
	ラウドネス	▶	P72	
	VTR入力	▶	P68	
	バックカメラ入力	▶	P68	
	バランスフェーダー	▶	P71	
	ソースレベルアジャスター	▶	P72	
	録音設定	▶	P81	
消音設定	▶	P73		
ワイド	▶	P65		
設定終了				

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	64
イコライザー	69、74、75
色あい	63
色の濃さ	63
エリア	21、25
エリアプリセットチャンネル	19
オート	44、45
オリジナルプレイリスト	39、47、51、57
音場設定	69、76
音声の録音	22、27、37、38、47
音声多重放送	22

か行

画像	54
黒の濃さ	63
コントラスト	63

さ行

再生順変更	50、56
再生(不)許可	52
自動選局	19
シネマ	66
ジャスト	66
主音声	22
手動選局	19
消音設定	70、73
消去	51、57、58
詳細情報	32、43、49、55
情報取得	60
新規ユーザープレイリスト	48
シングル	44、45、46
スキャン再生	29、33、36、42
ズーム	66
ソース	16
ソースレベルアジャスター	70、72

た行

タイトル	34、59
タイムアライメント	69、79
デジタルATT	69、80
多重	22
テレビ	18、89
トラック追加	53
トラックリスト	28、31、35

な行

ノーマル	66
------------	----

は行

パケットライト	86
バックカメラ	67、68、70
早送り	28、31、35、39
早戻し	28、31、35、39
バランスフェーダー	70、71
バンド	19、24
ビットレート	86
フォルダ	85
副音声	22
プリセットチューニング	19、25
フル	66
プレイリスト	40、61
ポーズ再生	30、34、36、42

ま行

マニュアル	44、45、46
マニュアルプリセット	23、27
マルチセッション	86
ミュージックサーバー	39、90、94

や行

ユーザー	21、25
ユーザープリセットチャンネル	19
ユーザープレイリスト	39、47、51、57

ら行

ラウドネス	70、72
ラジオ	24、89
ランダム再生	29、33、36、41
リアモニター	83
リストオフ表示	23、27、30、 34、37、43
リスト切替	40、61
リスニングポジション	69、78
リピート再生	29、32、36、41
録音	44
録音設定	70、81
録音モード	44

わ行

ワイド映像	65
-------------	----

数字・アルファベット順

A

AV設置	23、27、30、34、37、 43、69
------------	--------------------------

B

BAND	21、25
BBE	77
BSSM	21
BSM	26

C

CINEMA	66
CD	28、90、92

F

FULL	66
FOLDER RANDOM	33
FOLDER REPEAT	32
FOLDER SCAN	33

I

ID3-Tag	85、86
ISO 9660フォーマット	86

J

jpeg	54
JUST	66

M

m3u	85、86
MD	35、89、93
MP3	31、61、86、90
MP3ディスク	31、90、92
MP3ファイル	61、84、85

N

NORMAL	66
--------------	----

O

OFF 18、22、23、24、29、
30、32、33、34、37、38、
41、42、68、70、72、73
OCTAVER 77

P

PCカード 55、61、85
PLAYLIST RANDOM 41
PLAYLIST REPEAT 41
PLAYLIST SCAN 42

R

RANDOM 33、41
REPEAT 32、41

S

SCAN 33、42

V

VBR 86
VTR 67、68、70

Z

ZOOM 66



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

●カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

☎0070-800-8181-11

●カタログのご請求窓口

☎0070-800-8181-33

- <ご注意> ●PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
- 修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2002

<KAMFF/01D00000> <CRA3337-B>